

RX Japan株式会社
 株式会社秋田放送
 アメリカン・モーション・ピクチャー・アソシエーション・オブ・ジャパン
 伊藤忠商事株式会社
 株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス
 株式会社イマジカデジタルスケープ
 一般社団法人映画産業団体連合会
 一般社団法人衛星放送協会
 公益社団法人映像文化製作者連盟
 株式会社ADKエモーションズ
 エイベックス株式会社
 株式会社エスピーオー
 株式会社NHKエンタープライズ
 NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社
 大蔵映画株式会社
 一般社団法人外国映画輸入配給協会
 株式会社カインズ
 株式会社KADOKAWA
 株式会社カプコン
 株式会社キネマ旬報社
 株式会社キノフィルムズ
 ギャガ株式会社
 株式会社京映アーツ
 キングレコード株式会社
 株式会社クオラス
 株式会社講談社
 株式会社コーエーテクモゲームス
 株式会社コナミデジタルエンタテインメント
 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
 埼玉県 彩の国ビジュアルプラザ
 株式会社サンリオ
 一般財団法人出版文化産業振興財団
 松竹株式会社
 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
 株式会社STUDIO4C
 一般財団法人セガサミー文化芸術財団
 全国興行生活衛生同業組合連合会
 一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟

ソニーPCL株式会社
 株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
 株式会社第一興商
 高津装飾美術株式会社
 有限会社ティーアイ・コムネット
 株式会社TBSテレビ
 株式会社ティーワイリミテッド
 一般財団法人デジタルコンテンツ協会
 株式会社デジタルSKIPステーション
 株式会社手塚プロダクション
 株式会社テレビ朝日
 株式会社テレビ東京
 株式会社電通
 東映株式会社
 東映アニメーション株式会社
 東映ラボ・テック株式会社
 東宝株式会社
 学校法人東放学園 東放学園専門学校
 東宝東和株式会社
 株式会社東北新社
 株式会社トーセ
 株式会社トーハン
 株式会社ドリーミュージック
 株式会社ドリコム
 中日本興業株式会社
 名古屋テレビ放送株式会社
 日活株式会社
 株式会社日経BP
 日本アカデミー賞協会
 日本アニメーション株式会社
 協同組合日本映画製作者協会
 一般社団法人日本映画製作者連盟
 一般社団法人日本映画テレビ技術協会
 一般社団法人日本映像ソフト協会
 日本映像翻訳アカデミー株式会社
 一般社団法人日本音楽事業者協会
 一般社団法人日本音楽制作者連盟
 日本コロムビア株式会社

日本テレビ放送網株式会社
 一般社団法人日本動画協会
 一般社団法人日本民間放送連盟
 一般社団法人日本レコード協会
 株式会社博報堂
 株式会社パップ
 株式会社バンダイナムコフィルムワークス
 びあ株式会社
 株式会社フジテレビジョン
 特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション
 ブロードメディア株式会社
 ホクエツ印刷株式会社
 株式会社ポケモン
 株式会社ポニーキャニオン
 株式会社ポリゴン・ピクチュアズ
 株式会社ホリプロ
 武蔵野興業株式会社
 ユニバーサルミュージック合同会社
 吉本興業ホールディングス株式会社
 読賣テレビ放送株式会社
 一般社団法人ライセンシングインターナショナルジャパン
 株式会社ラパン
 琉球放送株式会社
 株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
 株式会社WOWOW

【賛助会員】
 鹿島建設株式会社
 株式会社きん でん 東京本社
 スーパーJSAT株式会社
 ソニー株式会社
 高砂熱学工業株式会社
 株式会社みずほ銀行

合計:109社・団体

Annual Report 2022

年間活動報告書
2022.4.1-2023.3.31



〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F
 TEL : 03-3543-7531 FAX : 03-3543-7533
 URL : <http://www.vipo.or.jp/>

編集・発行 特定非営利活動法人映像産業振興機構
 2023年6月29日発行



この製品は、FSC® 認証材および管理原材料から作られています。
 また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。



コンテンツの未来へ、 つなげる、ひろげる。

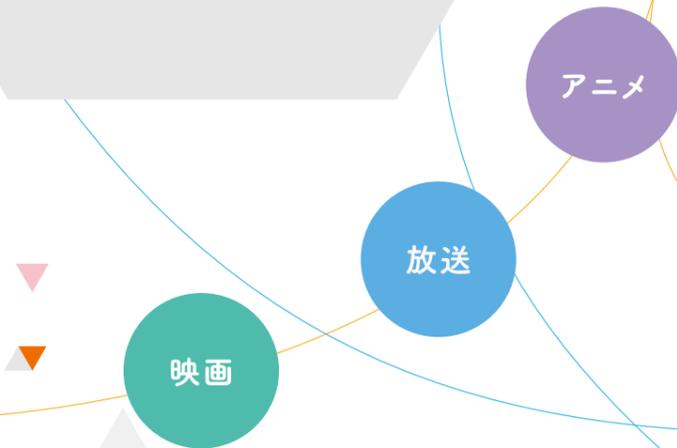
コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

VIPOの 主な事業テーマ

人材育成

海外展開・市場開拓

ヴィーボ
VIPOは日本のコンテンツ産業の国際競争力の強化を推進し、日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立されたNPO法人です。
〈人材育成〉〈海外展開・市場開拓〉の支援を中心に、様々な活動を通して、業界全体のさらなる価値向上と長期的発展をグローバルな視点に立ちサポートしています。



ご挨拶

2022年度の年間活動報告をさせていただくにあたり、日頃の皆様のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。
コロナ禍の影響を受けたイベント活動や文化芸術活動の支援を目的とした経済産業省および文化庁の補助金事業の事務局業務は、ほぼ終了いたしました。また一昨年立ち上げた自主事業「VIPO Film Lab」は、対象をプロデューサーのみならず、監督、脚本家、俳優などにも拡充し、「監督コース」では、フランス国立映画学校 (FEMIS) 等で教鞭をとる講師を日本に招き、対面講義を行いました。
2年半にわたり、オンラインで開催しておりました人材育成事業「VIPOアカデミー」は、今年度より一部にリアル参加日を設け実施する運びとなりました。
今年度も私たちVIPOは、常に先を見据え、コンテンツ業界のさらなる発展に向けて、より一層貢献できるよう取り組んで参ります。



理事長 松谷孝征



専務理事・事務局長 市井三衛

INDEX

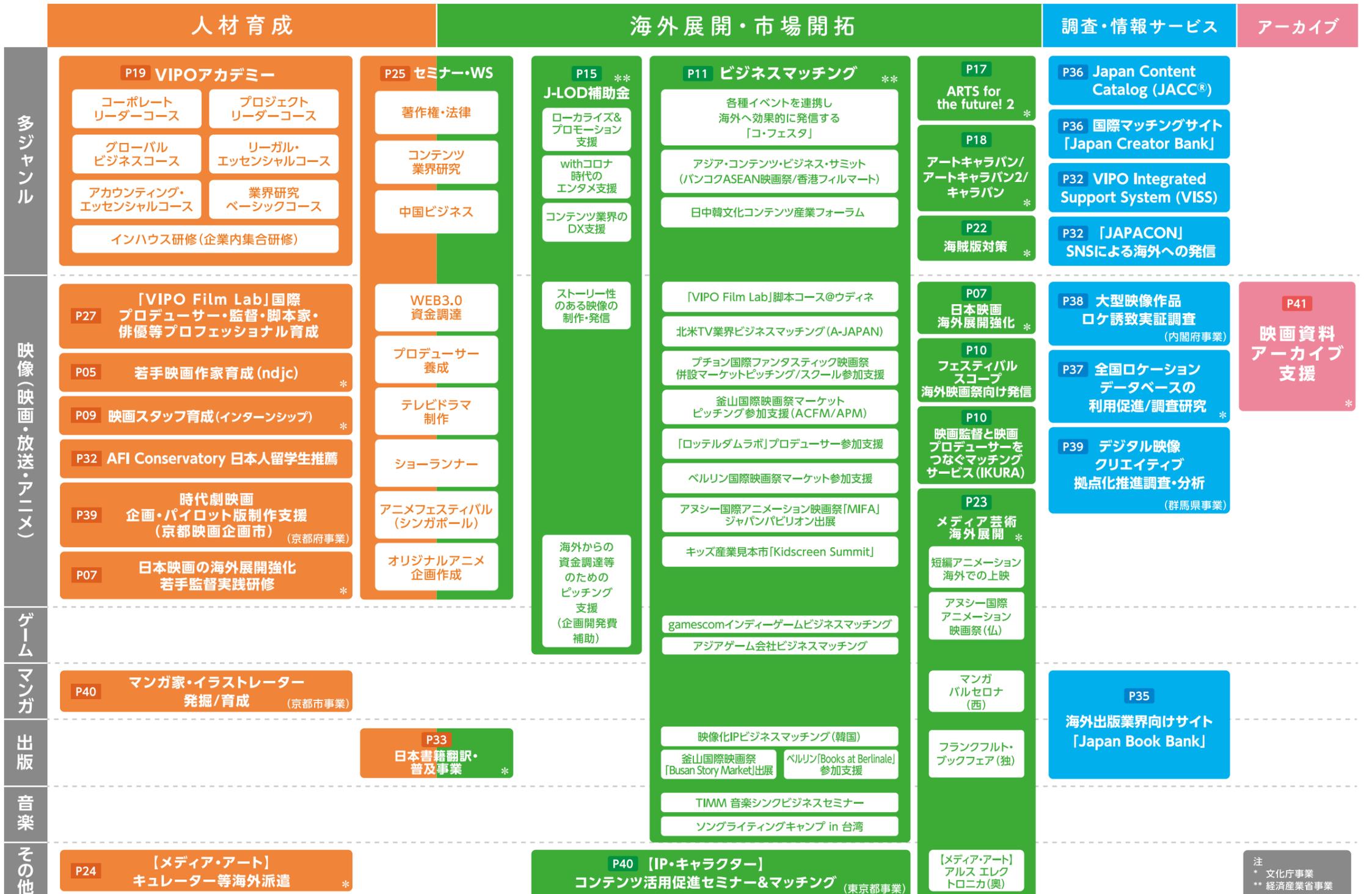
- P03-04** ・設立の経緯/組織図
・VIPO事業マッピング
- P05-06** ・ndjc:若手映画作家育成プロジェクト
- P07-08** ・日本映画の海外展開強化事業
- P09** ・映画スタッフ育成事業
- P10** ・オリジナル企画映画化のためのマッチングサービス「IKURA」
・Festival Scope活用事業
- P11-14** ・コンテンツ海外展開促進事業
- P15-16** ・コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金
- P17** ・ARTS for the future! 2
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)
- P18** ・統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)
・統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)
・令和5年度 文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業(キャラバン)
- P19-21** ・VIPOアカデミー
- P22** ・海賊版対策事業
- P23-24** ・メディア芸術海外展開事業
・文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業キュレーター等海外派遣プログラム
- P25-26** ・コンテンツ業界向け
セミナー&ワークショップ
- P27-31** ・VIPO Film Lab
- P32** ・AFI Conservatory日本人留学生推薦事業
・VIPO Integrated Support System(VISS)
・JAPACON
- P33-34** ・日本書籍翻訳・普及事業
- P35** ・海外向けオンライン出版コンテンツ
カタログサイト「Japan Book Bank」
- P36** ・Japan Content Catalog(JACC®)
・国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」
- P37** ・全国ロケーションデータベースの利用
促進のための調査研究
- P38** ・アフターコロナに向けた外国映像作品
ロケーション誘致に関する実証調査
・デジタル時代に向けた大型外国映像
作品ロケーション誘致に関する実証調査
- P39** ・京都映画企画市
・デジタル映像クリエイティブ拠点化推進
調査・分析業務事業
- P40** ・京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)
2022
・東京都コンテンツ活用促進事業
- P41** ・アーカイブ中核拠点形成モデル事業
- P42** ・VIPOインタビュー

- ……人材育成
- ……海外展開・市場開拓
- ……アーカイブ
- ……調査・情報サービス
- ……広報活動

設立の経緯

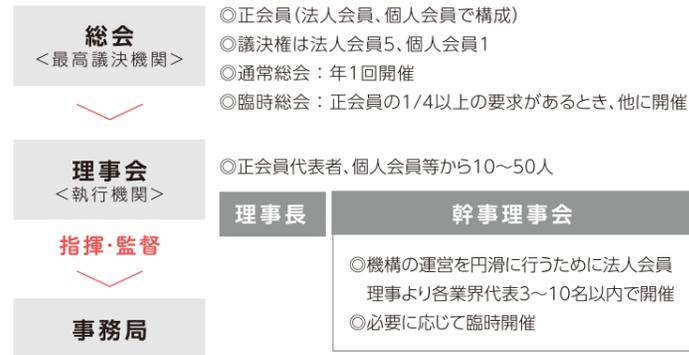
- 01** 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。
- 02** 政府「知的財産推進計画2004」(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。
- 03** 6月より経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作者連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務的検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。
- 04** 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。
- 05** その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年5月、認証。

VIPO事業マッピング(2023年度開始の新規事業含む)



注
* 文化庁事業
** 経済産業省事業

組織図



総会・理事会・幹事理事会 開催実績

※すべてオンラインを併用

I.総会

・令和4年6月28日

II.理事会

・令和4年6月8日 ・令和4年6月28日
・令和4年12月2日

III.幹事理事会

・令和4年4月14日 ・令和4年6月8日
・令和4年12月2日



ndjc:若手映画作家
育成プロジェクト

文化庁 委託事業

次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目的として
文化庁よりVIPOが委託を受け実施しているプロジェクト

ndjc2022実施概要

今年度は32団体から66名の応募があり、一次選考を経て15作家がワークショップに参加しました。その中から選出された4作家が最終課題である製作実地研修に進み、脚本開発を経て短編映画を製作。完成作品は全国で開催する映画業界関係者向けの合評上映会の他、一般観客向けに東京・名古屋・大阪にて劇場公開しました。多方面からいただく講評は作家の今後の活動に役立たせるべく、すべてをフィードバックします。これまでに完成したndjc作品と併せて、今後も引き続き発表の機会を提供していきます。

- 4月 作家の公募
- 5月 ・映画関係団体等から推薦された作家の中から、ワークショップ参加作家を決定
- 6月
- 7月 ワークショップ
- 8月 ・編集講義や、共通のテーマに沿った完成尺5分以内の作品を制作
- 9月
- 10月 製作実地研修
- 11月 ・25分以上30分以内の短編映画製作(脚本開発～撮影～仕上げ～完成)
- 12月
- 1月 合評上映会・講評会・劇場公開
- 2月 ・主要都市での映画業界関係者、一般モニターを対象とした合評上映会
- 3月 ・東京、名古屋、大阪で劇場公開
・検討委員会・脚本指導講師による講評会



本事業発足から17年を経て、81名が製作実地研修に進み、短編映画を製作
ここから長編映画監督が続々と誕生！

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。若手映画作家にとっては、プロのスタッフの指導の下、オリジナル脚本の短編映画作

品を製作するチャンスとなり、完成した作品は映画業界関係者向けの合評上映会だけでなく、劇場公開も行うため、広く作品を披露する機会となっています。さらに2022年度からは新規プロジェクト「長編映画の企画・脚本開発サポート」がスタート。現役の映画プロデューサー、映画監督、脚本家を講師に迎え、才能ある若手作家に対してオリジナル作品の企画・脚本開発およびパイロット映像製作のサポートを行いました。

長編映画の企画・脚本開発サポート

プロジェクト概要

オリジナル映画の企画書・脚本を公募し、27名の応募者から一次選考で13名を選出しました。選出された作家は、山本晃久プロデューサー(ウォルト・ディズニー・ジャパン)による講義にて商業長編映画作品を製作するにあたり必要な知識や考え方を学び、最終選考に向けて企画書・脚本の改稿、ログライン・タグラインの制作を実施。あわせて講師による面接も行い、最終選考で研修参加作家2名を決定しました。選出された2名の作家は、講師による指導の下、企画・脚本の開発、パイロット映像の製作、映画製作者に向けたプレゼンテーションに取り組みました。



脚本開発

講師

山本晃久氏(ウォルト・ディズニー・ジャパンプロデューサー) / 田中幸子氏(脚本家) / 大江崇允氏(映画監督・脚本家)

スケジュール

- 7月 作家の公募
- 8月
- 9月
- 10月 一次選考、講義
- 11月 最終選考
- 12月
- 1月 企画・脚本開発、パイロット映像製作
- 2月
- 3月 初稿・パイロット映像完成、映画製作者に向けたプレゼンテーション

研修参加作家



川上信也氏
『冬虫花草』



坂本悠花里氏
『白い花果』



パイロット映像製作



出身監督の主な活躍 / 近年の劇場公開作品

- ndjc2006 真田幹也氏…『ミドリムシの姫』('22)
- ndjc2006 児玉徹郎氏…『ドラゴンボール超 スーパーヒーロー』('22)
- ndjc2010 松永大司氏…『Pure Japanese』('22)『エゴイスト』('23)
- ndjc2010 三宅伸行氏…『世の中にたえて桜のなかりせば』('22)
- ndjc2011 藤澤浩和氏…『ツアーアウトフルベース』('22)
- ndjc2014 草刈 勲氏…『死体の人』('23)
- ndjc2014 吉野耕平氏…『ハケンアニメ!』('22)、『沈黙の艦隊』('23)
- ndjc2015 ふくだももこ氏…『炎上する君』('23)
- ndjc2018 板橋基之氏…『Bridal, my Song!』('22)

ndjc2022 製作実地研修参加作家と完成作品

『うつぶせのまま踊りたい』



監督
岡本昌也氏

【作家推薦団体】
日本アド・コンテンツ制作協会
【制作プロダクション】
レスパスフィルム
【出演】
福永朱梨、日下七海



『ラ・マヒ』



監督
成瀬都香氏

【作家推薦団体】
TAMA映画フォーラム実行委員会
【制作プロダクション】
ROBOT
【出演】
まりあ、夏 すみれ、ライディーン 銅、夏目朱里、中野深咲



『サボテンと海底』



監督
藤本 楓氏

【作家推薦団体】
東京藝術大学大学院
映像研究科映画専攻
【制作プロダクション】
TOHOスタジオ
【出演】
宮田佳典、佐野 岳、大友一生、石川浩司、ふせえり



『デブリーズ』



監督
牧 大我氏

【作家推薦団体】
ショートショート
フィルムフェスティバル&アジア
【制作プロダクション】
キリシマー九四五
【出演】
山根和馬、森 優作、カトウシンスケ



日本映画の海外展開強化事業

文化庁 委託事業

本事業は、欧米の映画先進国において日本映画の上映を実施する他、国際的で多様なワークショップ等による人材交流機会の提供によって、新たな創造活動の機会創出および促進、映画人材の増強、ひいては日本映画の魅力向上、多様性の強化を実現することを目指し実施いたしました。

実施事業は、(ア)ニューヨークにて現地パートナーであるジャパン・ソサエティと共に日本映画の特集上映会を実施、(イ)ニューヨーク一般劇場での日本映画上映会を実施、(ウ)日本の若手映画作家の短期実践研修を実施、(エ)ロサンゼルスでプレスを中心とした映画業界人向けの日本映画上映会を実施の計4事業を実施しました。

(ア) ニューヨークにて現地パートナーであるジャパン・ソサエティと共に日本映画の特集上映会を実施

- 実施期間:2022年11月11日(金)～20日(日)
- 上映会場:Japan Societyオーデトリウム
- テーマ:
“The Female Gaze ～女性映画人の視点～ Women Filmmakers from JAPAN CUTS and Beyond”
- 上映作品:
『ウェディング・ハイ』(大九明子監督)、『大河への道』(中西健二監督)、『ワタシの中の彼女』(中村真夕監督)、『子供はわかってあげない』(沖田修一監督)、『グッド・ストライプス』(岨手由貴子監督)、『よだかの片想い』(安川有果監督)、『おとうと』(市川 崑監督)、『炎上』(市川 崑監督)、『ふたり』(根岸里紗監督)、『LONG-TERM COFFEE BREAK』(藤田直哉監督)、『夜明け』(広瀬奈々子監督)、『川っぺリムコリッタ』(荻上直子監督)、『人間失格 太宰治と3人の女たち』(蜷川実花監督)、『裸足で鳴らしてみせろ』(工藤梨穂監督)、『凧の島』(長澤雅彦監督)、『繕い裁つ人』(三島有紀子監督)、『PLAN 75』(早川千絵監督)
(合計17作品/上映順)
- その他:
上映にあわせて大九明子監督、荻上直子監督による質疑応答、パネルディスカッション等を実施しました。



※協力:国立映画アーカイブ(クラシック作品2作品の選定)

(イ) ニューヨーク一般劇場での日本映画上映会を実施

- 実施期間:2023年2月10日(金)～16日(木)
- 上映会場:IFC Center
- 上映作品:
『ある男』石川 慶監督
『ケイコ 目を澄ませて』三宅 唱監督
『土を喰らう十二ヵ月』中江裕司監督
『千夜、一夜』久保田 直監督
『やまぶき』山崎樹一郎監督 (合計5作品/上映順)
- その他:上映にあわせて山崎樹一郎監督による質疑応答や、ニューヨーク大学におけるトークイベントを実施しました。



(ウ) 日本の若手映画作家の短期実践研修を実施

日本の映画人材の育成および海外進出の促進を目的に、米国映画界のプロフェッショナルを講師に迎え、ニューヨークにて脚本や企画書指導、テーマ別講義および映画関連施設の視察、そして後半はオンライン講義のフォローアップを組み合わせた短期実践研修を実施。若手映像・映画作家の3名を研修者として公募より選出し、2022年11月から2023年2月の間で計7日間程度研修を実施しました。

- ニューヨーク対面講義:2022年11月14日(月)～18日(金)
- オンライン講義:2023年2月9日(木)～10日(金)
- 研修者:根岸里紗氏、広瀬奈々子氏、藤田直哉氏



根岸里紗氏



広瀬奈々子氏



藤田直哉氏

(エ) ロサンゼルスでプレスを中心とした映画業界人向けの日本映画上映会を実施

- 実施期間:2022年9月27日(火)～10月1日(土)
- 上映会場:Harmony Gold Preview House(LA ハリウッド地区)
- 上映作品:
『さがす』片山慎三監督
『メタモルフォーゼの縁側』狩山俊輔監督
『そして父になる』是枝裕和監督
『川っぺリムコリッタ』荻上直子監督
『ケイコ 目を澄ませて』三宅 唱監督 (合計5作品/上映順)
- その他:上映にあわせて片山慎三監督、狩山俊輔監督、是枝裕和監督、三宅唱監督による質疑応答(オンライン)、パネルディスカッション等を実施しました。



映画スタッフ育成事業

文化庁 委託事業



映画スタッフを目指す学生に、実際の映画制作現場での実習を通して、現場での初歩的な知識と技術を習得させることを目的とした人材育成事業です。学生/学校/制作プロダクションと連携して、学校の授業だけでは習得、体験することができない、プロの制作現場において必要とされる知識、技術、スタッフ間でのコミュニケーション能力等を身につけ、卒業後に映画の制作現場で活躍できるスタッフを持続的に育成することを目指しています。

2018年度から5年間、VIPOが事務局を運営しています。映画学科や映像系学科等がある大学/専門学校等を中心に一般大学、美術大学、服飾美容系専門学校も含めて募集を行い、2022年度は50人の学生が実写劇映画15作品の撮影現場にてインターン実習を経験しました。実習後に実施したアンケートでは制作会社/学生の両者から満足度と有益度が高い評価を得ました。[学生: 有益度94%、制作会社: 次の現場でも学生を受け入れたい96%]

実習職種

演出/撮影/照明/録音/制作/プロデューサー/美術/装飾/衣裳/ヘアメイク

実習生の声

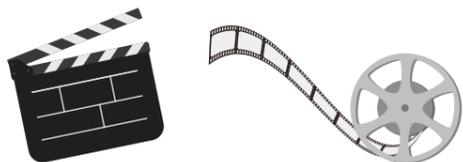
- 実際の撮影現場に参加したことで、より具体的に全体の流れや、働き方を知ることができた。
- ネットで調べてもいまひとつ分からなかった具体的な仕事内容についてたくさんお話を伺えたことが一番の収穫。
- 自分の将来像と照らし合わせることができたことはとても貴重で有意義。
- 将来につながる素敵な出会いを沢山させていただいた。
- 様々な大変さを感じながらも迎えたクランクアップ時の感動はいつまでも忘れずにいたい。

学校関係者の声

- 学校ではどうしても教えることのできない部分を多く吸収してきてくれた。
- 卒業後の進路について相談に乗っていただけた。
- 現場の技師さんに次の現場もお誘いいただき、つながりを作ることができた。

製作現場の声

- 現場で学べることがあるので、学校は現場にどんどん生徒を送り込んでほしい。
- 撮影現場で一番最初に動いていて、撮影に対する姿勢はこちらも見習うところがあった。
- インターンが来てくれて、撮影現場に新鮮な感覚を吹き込んでくれた。
- 他部署との交流も積極的に図ったようで、今後自分が目指していくクリエイターとしての基礎が作れたのではないかと。
- 目に見えている撮影現場以外の部分を知れたのは大きな成果なのではと思う。
- (地方から参加した学生について) やる気がある若い才能は地方にもいることを強く実感。



オリジナル企画映画化のためのマッチングサービス「IKURA」

自主事業



「IKURA(イクラ)」の由来: アイデア(IDEA)の蔵(KURA)

その他施策

「映画企画ブラッシュアップ講座&ピッチトレーニング」登録監督向け施策として、「企画書の見せ方」や「説得力のある企画書」を学べる「映画企画ブラッシュアップ講座」と、効果的なプレゼンテーションを習得する「ピッチトレーニング」プログラムを策定し、1月より募集を開始。2023年度実施を予定しています。特設ページ: <https://www.ikura-vipo.jp/special/2023/>

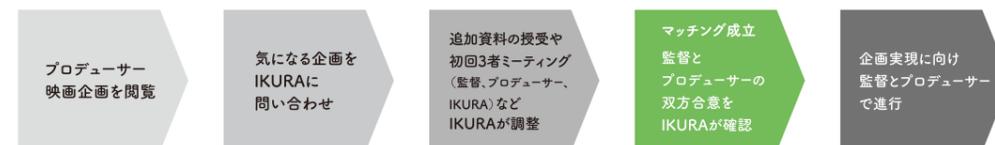
「脚本開発支援」

登録監督によるオリジナル映画企画とプロデューサーのマッチングが成立した案件に対し、脚本開発支援を行う制度を構築しました。申請書による書面審査と面談を実施し、2023年3月に対象企画を1件決定しました。IKURA公式サイト: <https://www.ikura-vipo.jp/> IKURA公式Twitter: @ikura_vipo

IKURA(イクラ)は、「監督が生み出す新たな映画企画」と「映画化したいプロデューサー」をつなぎ、映画製作実現を目指すマッチングサービスです。本サービスのプラットフォームとなるウェブサイトでは主に以下を掲載しています。

- 監督発案のオリジナル映画企画
- 登録監督のプロフィール/フィルモグラフィ/受賞経歴/過去制作映像など
- 対談 *2022年度実施実績
 - ・奥野俊作監督×西ヶ谷寿一プロデューサー(東京テアトル株式会社)
 - ・志萱大輔監督×八木佑介プロデューサー(株式会社ロボット)
- コラム *2022年度実施実績
 - ・板橋基之監督・熊谷まどか監督・矢野瑛彦監督・内田信輝監督
 - ・塚田万理奈監督

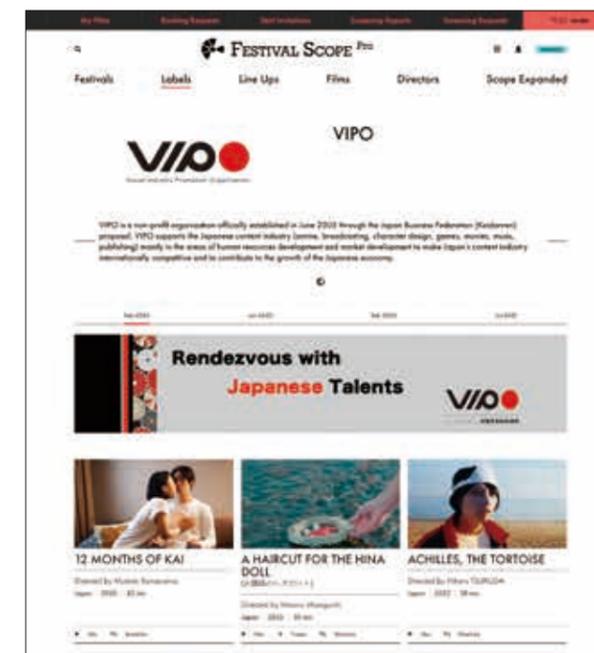
ご利用の流れ



Festival Scope活用事業

自主事業

今年度は掲載時期をカンヌ国際映画祭後、ベルリン国際映画祭前の年2回に分けて、それぞれ公募を行い選定のうえ、計46作品を掲載しました。世界各国の様々な映画祭プログラマーやバイヤー等が一堂に会する大規模マーケット期間の前後にあわせ、多くの日本映画やクリエイターを発見していただく機会を提供いたしました。ヨーロッパで開発された業界関係者向けオンライン映画視聴プラットフォーム「Festival Scope Pro」(<https://pro.festivalscope.com>)にVIPO特設ページを開設し、公募により出品作品を選定・掲載。またVIPO事業に関連した日本映画作品や制作者の作品などを掲載しました。主に海外の映画祭プログラマーや関係者に向けて日本映画の視聴機会を提供し、映画祭への選定を促すことを目的としています。



コンテンツ海外展開促進事業

コンテンツ関連 ビジネスマッチング事業

経済産業省 委託事業



日本発のアニメ、マンガ、映画、音楽等のコンテンツや先進的なコンテンツ技術の成長を継続・発展させていくため、コンテンツの海外展開に向けた市場を拡大するとともに、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションを促進し、関連産業への波及を生み出していくことを目的としたプロジェクト。日本のコンテンツホルダーへビジネスマッチングの機会を提供することにより、日本コンテンツの国際取引活性化や新市場創出を図ります。

VIPO Film Lab脚本コース@ウディネ

ウディネで開かれた「ファーイースト映画祭」期間中にプロデューサー3名を派遣し、現地で脚本ディベロップメントのセッションを実施したほか、EAVE主催のラボTies That Bind (TTB)のASIA/EUROPE CO-PRODUCTION WORKSHOP参加者とのネットワーキングや、「ファーイースト映画祭」および「Focus Asia」(インダストリー部門)への参加も行いました。

【開催日】2022年4月26日(火)～29日(金)
【会場】イタリア・ウディネ



アヌシー国際アニメーション映画祭「MIFA」VIPOブース出展

アヌシー国際アニメーション映画祭併設見本市の「MIFA」において、日本企業向けの商談ブースを出展しました。2020年度、2021年度はオンラインでの出展だったため、現地でのブース出展は2018年以來、5社のアニメーション関連企業が商談を実施しました。

【開催日】2022年6月14日(火)～17日(金)
【会場】フランス・アヌシー



「A-JAPAN (Acceleration-JAPAN)」ビジネスマッチング

日本IPの北米でのTVシリーズ映像化・リメイク化を促進するため、ハリウッド関係者とのオンラインマッチングイベントを実施しました。7作品のピッチング映像とピッチデッキ、2つのパネルによる日本IPへの理解を深める映像も提供し、閲覧数は1,000回を超えました。

【開催日】2022年6月23日(木)～7月4日(月)※現地時間
【会場】オンライン開催
【協力】Amuse Group USA, Inc.



プチョン国際ファンタスティック映画祭ピッチング「NAFF It Project」「Fantastic Film School」

アジア最大のジャンル映画企画マーケットである「NAFF It Project」に「臣女」と「Left Hand Of The Devil」の2企画を推薦し参加支援。両企画とも世界各国から集まった映画関係者等に3日間積極的にピッチングを行いました。また「NAFF Fantastic Film School」にはケイティー・ロン氏(プロデューサー)を選出し派遣しました。

【開催日】「NAFF It Project」:2022年7月9日(土)～12日(火)
「NAFF Fantastic Film School」:2022年7月7日(木)～13日(水)
【会場】韓国・プチョン



gamescomインディーゲームビジネスマッチング

「gamescom 2022」のジャパンパビリオンにおいて、海外のゲームパブリッシャーや投資家に日本のインディーゲームを売り込むため、日本のインディーゲーム30作品を展示・紹介しました。

【開催日】2022年8月24日(水)～26日(金)
【会場】ドイツ・ケルン



釜山国際映画祭「Asian Contents & Film Market (ACFM) 2022」出展/ 「Asian Project Market (APM) 2022」

「釜山国際映画祭」の併設企画マーケット「Asian Contents & Film Market (ACFM) 2022」においてVIPOブースを出展し、VIPO選出企画の監督とプロデューサーが、配給会社等の映画関係者に向けてピッチング(個別ミーティング)を実施しました。

また、同時開催の「Asian Project Market (APM)」に参加する企画を募集し、映画祭へ推薦。VIPO推薦企画としては初めて選出され、監督とプロデューサーが参加しました。APM開催期間中に、世界中から招待された出資者、映画祭担当者、プロデューサーなどを相手に、ピッチング(英語)を実施しました。

【開催日】「Asian Contents & Film Market (ACFM)」:2022年10月8日(土)～11日(火)
「Asian Project Market (APM)」:2022年10月9日(日)～11日(火)
映画祭:2022年10月5日(水)～14日(金)
【会場】韓国・釜山



釜山国際映画祭「Busan Story Market」(IBE-IP Market) 出展

釜山国際映画祭併設企画マーケット「Asian Contents & Film Market (ACFM)」内の「Busan Story Market」にて、映像化を目指す出版物(書籍/電子書籍/脚本等も可)を持つ企業を募集し、ACFMとパートナーシップを結び、Japan delegationとして参加しました。昨年度まで「E-IP Market」という名称のマーケットであり、VIPOの現地での出展は今年が初。出版関連企業5社が186件の商談を実施しました。事前に希望者に向けて全4回のピッチトレーニングも実施しました。

【開催日】2022年10月8日(土)～11日(火)
【会場】韓国・釜山



TIMM 音楽シンクビジネスセミナー「海外の映像作品で日本の楽曲が流れるために、今すべきこと～最新ハリウッド映画のシンク例から学ぶ～」

2020年度、2021年度に実施した、音楽海外シンクビジネスセミナーの進化版として、実際に日本の音楽が多数ハリウッド映画にシンクされた実例について、映画『ブレット・トレイン』のMusic Supervisorであるシーズン・ケント氏と日本側の権利クリアランスにかかわった田端氏、日米両方のクリアランスのプロフェッショナルである備氏によるパネルディスカッションをTIMM内で実施しました。

【開催日】2022年10月19日(水)
【会場】オンライン開催 ※TIMM Onlineにて配信
【登壇者】シーズン・ケント氏、備 耕庸氏、田端花子氏(モデレータ)
【主催】一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団(JMCE)
【共催】特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)



アジアゲーム会社ビジネスマッチング

アジア(インド、タイ、マレーシア)のゲーム会社3社に、日本のゲームタイトル/IP等売り込むビジネスマッチングをオンラインで実施しました。

【開催日】2022年11月30日(水)、12月5日(月)、6日(火)
【会場】オンライン

ロッテルダム国際映画祭併設プロデューサー養成ラボ「Rotterdam Lab 2023」

世界3大映画祭に次ぐ重要な映画祭、ロッテルダム国際映画祭の企画マーケット「CineMart」の一部として3年ぶりに現地開催された「Rotterdam Lab」にVIPO推薦のプロデューサー2名を派遣。国際マーケットで成功するための各種講義やセッションに参加しました。また、過去2年間オンライン参加したプロデューサー向けの卒業生プログラムも同時開催され2名を派遣、計4名のプロデューサーが参加しました。

【開催日】2023年1月28日(土)～2月1日(水)
【会場】オランダ・ロッテルダム
【参加者】黄 インイク氏、後藤美波氏、井手陽子氏、増淵愛子氏



「Kidscreen Summit 2023」ジャパブース出展

北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市である「Kidscreen Summit 2023」において、3年ぶりに現地で商談用のブースを出展し、日本の子ども・ティーン向けコンテンツ企業に海外マーケットへコンテンツを展開するための商談機会を提供しました。オンライン参加を含めると今年度は5度目の出展となり、日本企業6社が参加し、125件の商談を実施しました。渡航前の準備として希望者に向けて全4回のピッチトレーニングも実施しました。

【開催日】2023年2月12日(日)～15日(水)
【会場】米国・マイアミ



ソングライティングキャンプ in 台湾

音楽クリエイターの支援の一環として、日本と海外の音楽クリエイターの共同作業によるコーライトセッションを台湾・台北において実施しました。日本人音楽家10名と、台湾のアーティストが計19曲を制作し、台湾・中華圏アーティストにピッチングを行い、アジア発のヒット曲創出を目指しました。

【開催日】2023年2月14日(火)～16日(木)
【会場】台湾・台北
【協力】台湾One Asia Music



ベルリン国際映画祭併設マーケット「Visitors Programme Berlinale Co-Production Market」

ベルリン国際映画祭併設マーケット「Berlinale Co-Production Market」[Visitors Programme Berlinale (ビジターズプログラム) at Co-Production Market]に、VIPOが推薦した3名の新進映画プロデューサーが参加しました。「Berlinale Co-Production Market」は積極的に国際共同製作に携わるプロデューサー、セールスエージェント、ディストリビューター、放送関係者や投資家が集まり、ネットワーキングやピッチングするためのプラットフォームであり、「Visitors Programme」は「Berlinale Co-Production Market」の体験版という位置づけになります。

【開催日】2023年2月18日(土)～22日(水)
【会場】ドイツ・ベルリン



「Books at Berlinale」プロデューサー派遣

Book to Filmの成立を目的としてベルリン国際映画祭内で開催されるイベント「Books at Berlinale」に映画プロデューサーを派遣。海外の原作とのコラボレーションを目指し、日本から2名のプロデューサーが、海外出版社等とのマッチメイキングセッションへ参加しました。

【開催日】2023年2月20日(月)
【会場】ドイツ・ベルリン



韓国映像化IPビジネスマッチング

韓国映像制作会社3社に小説、コミック、ライトノベルなどの映像化の原作または映画やドラマのリメイク権などをライセンスアウトすることを目的にビジネスマッチングを実施し、6社9作品が参加しました。昨年度も同様のビジネスマッチングを実施しており、実写ドラマ化契約が成立しています。

【開催日】2023年2月7日(火)、8日(水)、16日(木)、17日(金)
【会場】オンライン開催
【協力】株式会社ロボット 日韓IPコーディネーター専門チーム(J-KIP)

日中韓文化コンテンツ産業フォーラム

日本・中国・韓国におけるコンテンツ産業政策、動向に関する継続的な情報交換および各国産業界間のビジネスチャンスの創出を目的とする国際会議を実施しました。参加者は、3カ国のコンテンツ産業担当政府、政府系機関、学術機関および産業界。本年度の主催国は韓国で、政府間会議の他、政府代表の基調発表や企業交流会(テーマは「XRコンテンツにおける産業の現状および交流協力案」)が行われました。

【開催日】2022年10月27日(木)、28日(金)
【会場】韓国・済州島



「ACBS (ASIA CONTENT BUSINESS SUMMIT)」香港フィルマート

アジアにおけるコンテンツ産業の官民関係者を一堂に集めた、クリエイティブメディアとコンテンツ産業の発展を促進する国際会議。「香港フィルマート2023」にて、ワーキンググループディスカッションプログラムを実施しました。中国・香港、インドネシア、韓国、マレーシア、タイの代表者が現地にて、また日本をはじめとしたその他関係者がオンラインにて参加し、各国の状況を共有すると共に、次世代に向けた議論が行われました。

【開催日】2023年3月15日(水)
【会場】SME Training Room, HKCDC (中国・香港) ※日本他いくつかの国の関係者はオンラインで参加



コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル2022)

国内外の日本コンテンツに関わる多種多様なイベントを連携させ、海外へ効果的に情報発信するためのプロジェクトです。日本コンテンツに関わるイベントのネットワーク構築を行い、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションのあり方を検討し、国内外に向けて情報発信することで、日本コンテンツの市場拡大につなげることを目的としています。リアルとオンラインのハイブリッド形式の取り組みが目立ち、昨年以上にイベントへの来場者数の増加により、回復の兆しがみえました。

※認定イベント:32



コンテンツ海外展開促進・ 基盤強化事業費補助金

経済産業省 補助事業



本事業は、経済産業省の令和3年度予算による「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金(J-LOD)」(約556.5億円)を受け、

- (1) 海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援
- (2) 海外からの資金調達等のためのピッチングを行う事業の支援
- (3) withコロナ時代におけるエンタメビジネスを行う事業の支援
- (4) コンテンツ業界のDXに資するシステムの開発・実証を行う事業の支援
- (5) ストーリー性のある映像制作・発信を行う事業の支援

を実施するもので、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大、および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的としています。当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため以下の(1)(2)(3)(4)(5)の必要経費の一部を助成するものです。

(1) 海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援

コンテンツが主体となった海外展開を行う際のローカライズおよびプロモーションを行う事業が対象となっています。(2022年3月24日[木]より公募を開始)

(2) 海外からの資金調達等のためのピッチングを行う事業の支援

海外展開を目指すコンテンツの本格的な製作に必要な資金調達、ライセンス販売やパートナー獲得のためのピッチ映像の制作等を行う事業が対象となっています。(2022年3月24日[木]より公募を開始)

(3) withコロナ時代におけるエンタメビジネスを行う事業の支援

収益チャンネルの多様化や顧客体験の向上によって、新たな顧客や、事業機会の確保、収益の多様化・強靱化を行う、日本発コンテンツを活用したイベントの実施による新たなビジネスモデルへの転換を行う事業、また、緊急事態宣言等によるイベント開催制限等の影響によって、イベント等を中止せざるを得ない場合、開催等を延期・中止した公演、展示会、遊園地・テーマパークのキャンセル費用および関連する海外向けプロモーション動画の製作・配信を行う事業が対象となっています。(2022年3月28日[月]より公募を開始)

(4) コンテンツ業界のDXに資するシステムの開発・実証を行う事業の支援

コンテンツ制作・流通工程の効率化に資するシステムの開発・実証を行う事業が対象となっています。(2022年3月17日[木]より公募を開始)

(5) ストーリー性のある映像制作・発信を行う事業の支援

デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業が対象となっています。(2022年3月17日[木]より公募を開始)

交付決定結果

- ▶ 2022年3月から2023年6月30日(金)までの事業のため現在継続中。(繰越しに伴い延長)

主な活動内容

- ▶ 補助金の対象や申請方法などを紹介する「補助金説明会」を開催。また、説明動画をホームページに掲載しました。
- ▶ 申請を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を開催。また、メールや電話での相談も随時受け付けました。
- ▶ 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催しました。

J-LOD活用事例

(1) 海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援

サン・セバスティアン国際映画祭プロモーション ギャガ株式会社

川村元気監督作品『百花』がサン・セバスティアン国際映画祭のオフィシャル・コンペティション部門に選出され、公式上映に伴い、監督とキャストが現地へ渡航し、レッドカーペットや、記者会見にも参加。最終日には授賞式が行われ、日本人初の最優秀監督賞に輝きました。



(2) 海外からの資金調達等のためのピッチングを行う事業の支援

『森の番人グスタフ』 有限会社カナバングラフィックス

TVアニメシリーズ『森の番人グスタフ』(11分×52話)について、新たにパイロットムービーとパイブル(Ver5)と冒頭3話の脚本を制作。海外の市場によりマッチしたものに仕上げました。



(3) withコロナ時代におけるエンタメビジネスを行う事業の支援

ACIDMAN presents [SAITAMA ROCK FESTIVAL "SAI" 2022] 株式会社フリースター

2022年11月26日(土)、27日(日)にロックバンド「ACIDMAN」主催で地元、埼玉のさいたまスーパーアリーナにて「SAITAMA ROCK FESTIVAL "SAI" 2022」を開催。著名で多彩な出演者とともに、コロナ禍における音楽の必要性和素晴らしさを届けました。日本音楽イベントシーンを盛り上げるべく、ドローン空撮やInstagramでのVR/AR体験、空間認識型ARゲームといった最新テクノロジーも活用した豊かな顧客体験の提供とオンライン配信や様々なブース展開し、コラボグッズ販売など多様な収益計画にて当イベントを実施しました。(ビジネスモデル革新枠)



(4) コンテンツ業界のDXに資するシステムの開発・実証を行う事業の支援

演出制作用ソフトウェア電飾シンセの開発 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

音楽家に身近なシンセサイザーの方式を照明制御に導入し、MIDI情報を利用することで照明コンテンツの制作を支援するためのPCアプリケーションを開発。照明制御ツールでありつつ“音源”としての性能を有しており、互いに影響し合うことで、一般的な照明制御プロトコルの制約に留まらず、巨大な規模感・ピクセル数の照明機器制御をも可能にしました。本システムは、さっぽろ雪まつり2023にて、札幌大通公園とさっぽろテレビ塔を網羅的に繋ぎ、大規模な実証実験を行いました。



(5) ストーリー性のある映像制作・発信を行う事業の支援

日本初のブック型オンライン寄せ書きサービス「スゴヨセ」 株式会社iUM

日本初となる、WEBで作成可能な寄せ書きBOOK作成サービス「スゴヨセ」の認知向上を目的として、お世話になった人への感謝や、直接伝えることのできなかつた気持ちなど、“とっておきの想いを寄せ合う”ことの機微や感動を軸に、共感できるストーリーの「みんなの想いを一冊に」を制作。SNSを活用しブランディングの確立も行いました。



ARTS for the future! 2 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

文化庁 委託事業



本事業は、長期にわたるコロナ禍により甚大な影響を受けた文化芸術活動の再興を図るため、プロの文化芸術団体が、感染対策を十分に実施した上で積極的に公演等を開催し、その活動の充実・発展を図る取組を支援する補助金で、昨年度のARTS for the future! に続き、VIPOが事務局運営業務を受託しました。

【補助対象期間】

2022年1月1日(土)から2022年12月31日(土)までに実施される活動。

【補助対象者】

国内の文化芸術関係団体、国内の文化施設の設置者又は運営者に該当する法人もしくは任意団体。

【補助対象分野】

文化芸術基本法第8条から第12条に定める文化芸術分野。

【補助対象活動】

- (1) 充実支援事業
有料一般公開される公演や展覧会、映画の製作等であって、その更なる充実・発展を図る積極的な取組がなされているもの。
- (2) キャンセル料支援事業
緊急事態措置やまん延防止等重点措置、水際措置等により延期・中止せざるを得なくなった(1)の公演等。

【補助金額】

1団体当たり補助上限額区分に応じて最大600万円～2,500万円。

【募集期間】

2022年3月28日(月)～2022年10月14日(金)

■申請件数および交付決定件数

● 申請件数: 8,277件 ● 交付決定件数: 6,934件

■主な活動内容

- 申請案件全件の審査、実績報告の確認、補助金額の確定作業を実施。
- 特設サイトを開設して、本事業に係る様々な情報を随時発信。
- 専用コールセンターを開設して、申請者からの問い合わせに個別に対応。
- 本事業の対象者や申請方法などを解説する「オンライン説明会」を開催。
- 本事業に申請を検討する事業者を対象とした「オンライングループ相談会」を開催。
- 交付決定を受けた事業者に実績報告時の注意点等を解説する「交付決定者向けオリエンテーション」を開催。
- 本事業の概要、申請方法、実績報告方法、申請に必要な8つの専門知識を解説した一連の動画を制作・配信。



統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

文化庁 委託事業

コロナ禍からの文化芸術活動の再興のため大規模で質の高い公演等の実施や配信を支援し、需要喚起や業界全体の活性化を図り(大規模公演型)、地域の文化芸術関係者の力を合わせ文化芸術の振興を推進する(地域連携型)ことを目的に、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和3年度補正予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

【補助対象期間】

2022年1月1日(土)～2023年1月31日(火)まで

【交付決定件数/大規模公演型】 12件

【交付決定件数/地域連携型】 1件

【主な活動内容】

- 採択団体募集HPの設置
- 募集に関する問い合わせ対応
- 応募団体の審査補助業務
- 交付決定団体の問合せ対応
- 実績報告の確認と額の確定業務

統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)

新規事業

独立行政法人日本芸術文化振興会
委託事業

新型コロナウイルス感染症で傷んだ鑑賞環境復元と芸術水準維持のため、全国での公演や配信の支援(大規模公演型)とともに地域文化芸術関係団体・芸術家を中心として実施する取組を支援し地域の文化芸術の振興を推進する(地域連携型)ことを目的に、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和4年度補正予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

【助成対象期間】 2023年4月1日(土)～2024年1月31日(水)まで

令和5年度 文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業(キャラバン)

新規事業

独立行政法人日本芸術文化振興会
委託事業

大規模で文化芸術水準を向上させる公演等の実施や配信を支援し、文化芸術の質の向上とその重要性や魅力を発信するとともに、芸術団体の活動拠点の形成を目的に、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和5年度予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

【助成対象期間】 2023年4月1日(土)から2024年1月31日(水)まで



VIPOアカデミー

自主事業



コンテンツ業界のリーダー育成を目的として、業界に最適化された独自の教育プログラムを提供する人材育成事業

ビジネススキルの習得だけでなく ジャンルを超えてともに学んだ受講者によるネットワークは 新しいビジネスへのきっかけになっています

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、企業間のコラボレーションのきっかけの場になりました。また、グローバルで戦うビジネス力を磨く「グローバルビジネスコース」、

法律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「アカウントティング・エッセンシャルコース(旧ファイナンス・エッセンシャルコース)」、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」など、現在、全6コースを開講しています。2022年度も新型コロナウイルス感染防止のため、春期・秋期・冬期の全コースをオンラインで実施し、延べ24社71名に受講いただき、これまでの累計は133社794名となりました。

経営者講演会



登壇者 大崎 洋氏
吉本興業ホールディングス株式会社
代表取締役会長(2022年当時)

会社はひとつの家族と同じ、みんなで笑顔をつくっていく——
地方に世界に笑いを届ける吉本興業 大崎会長の経営術

2025年の日本国際博覧会(大阪・関西万博)にパビリオンを出展する吉本興業は、これまでに「地方創生」「アジア」「デジタル」をキーワードに数々の挑戦を行ってきました。大崎会長に、万博の構想から、仕事をする上で大事にしていること、組織のあり方、人材育成についてなど、日頃考えていらっしゃることを幅広くお話しいただきました。



登壇者 吉村 隆氏
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長

想像力がなければ、新たな創造はできない——
次世代へのバトンを繋ぐポニーキャニオン吉村社長の経営思考

パッケージから配信へと変化したエンターテインメント業界では、常に時代の先を見据えることが求められています。2015年の社長就任当時から、「脱パッケージ」をはじめ様々な改革を進めてきた吉村社長に、ご自身の転機や信条、「共創」思考や社内横断プロジェクト、ストレス発散方法に至るまで幅広くお話しいただきました。

成果発表会



業界各社の経営層から受講者の上司、政府関係者まで、多くの方にお集まりいただき、受講者から学びの成果を発表しました。

2022年度開講内容

コーポレートリーダーコース (管理職向け)

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ファイナンス、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー(経営幹部人材)を育成します。

第15期 2022年5月12日(木)~7月28日(木)
第16期 2022年9月8日(木)~12月1日(木)

目的

- ▶ 経営者の視点を養い、経営幹部になるために必要とされる経営スキルを身につける
- ▶ コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、リーダーシップを最大限に引き出す
- ▶ 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

プロジェクトリーダーコース (中堅社員向け)

講義と演習、グループ活動を通して、企画力(ロジカルシンキング、ファイナンス、発想力)と推進力(プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション)を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第13期 2022年5月14日(土)~7月26日(火)
第14期 2022年9月10日(土)~11月29日(火)

目的

- ▶ プロジェクトリーダーとして活躍するために必要なビジネススキルを身につける
- ▶ 他社の若手リーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

リーガル・エッセンシャルコース<基礎編>

(契約や知的財産法についての基本的な知識を身につけたい方、法務部門における経験が1年程度の方向け)

法律の枠組みや法的考え方の基本、著作権や商標を中心とした映像コンテンツビジネスにまつわる知的財産権制度の概要、契約締結交渉時の勘所などの基礎を身につけます。

基礎編 第1期 2023年1月31日(火)~2月14日(火)

目的

- ▶ 法律の枠組みや法的考え方の基本について学ぶ
- ▶ 契約や知的財産法についての基礎的な知識を身につける

リーガル・エッセンシャルコース<実践編>

(契約や知的財産法についての基本的な理解がある方、法務部門所属または契約実務者としての経験が1年以上の方向け)

コンテンツビジネスにまつわる契約実務について、各回の前半は講義により知識を整理し、後半は模擬事例をもとにしたグループディスカッションを行うことで、実践に役立つ考え方を身につけます。

実践編 第1期 2023年2月28日(火)~3月14日(火)

目的

- ▶ コンテンツビジネスにまつわる契約実務について知識を整理する
- ▶ 模擬事例をもとにしたグループディスカッションによって実践に役立つ考え方を身につける

アカウントティング・エッセンシャルコース<財務会計編>

(財務会計の基本的な知識を身につけたい方、経理財務部門に所属の場合は経験が1年程度の方)

会計用語や仕訳手順などを覚えることよりも、何のために会計があるのかなどの財務会計の基本をコンテンツビジネスの事例を用いた講義や演習(グループディスカッション)を通して身につけます。

財務会計編 第1期 2023年2月9日(木)~2月16日(木)

目的

- ▶ B/S、P/L、キャッシュフロー計算書の基本的な知識や読み方を身につける
- ▶ 財務諸表から企業の収益性を分析できるようになる

アカウントティング・エッセンシャルコース<管理会計編>

(財務会計や財務諸表についての基本的な理解がある方、経理財務部門に所属の場合は経験が1年程度の方)

プロジェクト原価計算や損益分岐点分析、新規事業計画の知識など管理会計の基礎となる考え方をコンテンツビジネスの事例に基づいて、身につけるとともに演習(グループディスカッション)を通じて、業界特有の課題について理解する。

管理会計編 第1期 2023年3月2日(木)~3月9日(木)

目的

- ▶ プロジェクト原価計算や損益分岐点分析など新規事業を計画するための知識を身につける
- ▶ 演習を通じてコンテンツ業界特有の課題について理解する

グローバルビジネスコース

(仕事で英語を使う方、海外とコミュニケーションを取る方向け)

実践を重視した講義(英語・日本語)と英語での演習を通して、英語でのビジネス(コミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力)を強化することで、グローバルシーンにおいて活躍できる人材を育成します。

※英語力想定レベル: 中級(TOEIC 600~700点程度)

※2022年度の開講は見合わせました

目的

- ▶ グローバルシーンに通用するコミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力を身につける
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

業界研究ベーシックコース

(コンテンツ業界各ジャンルの基礎知識を習得したい方向け)

コンテンツ業界の各ジャンル(映画・出版・音楽・テレビ・アニメ・ゲーム・キャラクター)とその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの成功パターンを学ぶことで、ジャンルを超えたコンテンツビジネスを生みだせる人材を育成します。

第10期 2022年12月7日(水)~2023年3月8日(水)

目的

- ▶ コンテンツ業界各ジャンルとその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解する
- ▶ コンテンツ業界の成功パターンを学ぶ
- ▶ 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

VIPOアカデミーをご利用いただいた企業の人事担当者様の声

株式会社IMAGICA GROUP 人材マネジメント部 浦 裕美様



当社はVIPOアカデミー開催初年度からご縁があり、コーポレートリーダーコースとグローバルビジネスコースに毎年参加させていただいています。研修ではメンバー同士のディスカッションはもちろん、講師に対しても積極的に意見をぶつけていて、そのやりとりがより深い理解を促進しているように感じます。多くの気づきを得ることができ、自分の行動に落とし込めるという点がこの研修の一番の魅力ではないでしょうか。受講した社員からは、「課題が多く大変だったが参加してよかった」、「ぜひ他の社員にも勧めたい」といった感想が多く、充実した講座内容が参加者の学びと満足度につながっていることを実感しています。

何より、業界のトレンドや世の中で何が起きているのかをキャッチアップしつつ、他社の方々とネットワークもできるのは、社員にとっても会社にとっても大きなメリットです。今後もぜひ継続して参加させていただきたいと考えています。

株式会社サンリオ 総務部人事課 中川恒之様



会社の特性上、社外の風土を感じる事が少なく、社外にも視野を向けることが重要だと思っていた時でしたので導入いたしました。

今回、私自身がコーポレートリーダーコースを受講することで、業務課題に対して俯瞰で見ることが習慣化しました。それぞれの案件を部門視点ではなく事業視点で見ることができ、社内連携の重要性に気づき、業務進行もスムーズになりました。また、部下との面談でもコミュニケーションが円滑になり、部下自身のモチベーションが上がったことも成果の一つです。

内容や結果に対してとても満足しております。今でも他社の受講生たちと良い関係が築けており、何度か新規の取り組みにもつながっております。同じ業界の同世代で切磋琢磨する研修は非常に有意義なものです。社内外問わず、お勧めしたいセミナーです。

公開コース以外に企業内集合研修(インハウス研修)を提供

2018年度より、公開コース以外に企業のニーズに合わせた企業内集合研修(インハウス研修)を実施しています。2022年度は「リーガル研修(基礎編)」「メインエディターに必要とされるCS向上研修」を実施しました。企業のニーズに合わせて研修内容をカスタマイズした派遣型インハウス研修を最短半日より実施することが可能です。(オンライン開講も可能) 詳細はhttps://vipo-academy.jp/in-house_training/

これまでの実績 リーダーシップ講座(キャラクター業界、音楽業界ほか) / ロジカルシンキング講座(音楽業界) / 英文ビジネスライティング講座(映画業界) / ファイナンス・エッセシャル講座(音楽業界) / ビジネスプランニング講座(映画業界) / リーガル知識講座(映画業界、広告業界) / CS向上研修(映像業界)・・・等

VIPOアカデミーの公式サイトでは、企業内集合研修や各コースに関する詳しい情報に加え、人材育成に役立つ情報等を発信しています。

「VIPOアカデミー」公式サイト
<https://vipo-academy.jp/>
 「VIPOアカデミー」公式ツイッター
https://twitter.com/VIPO_ACADEMY



海賊版対策事業

新規事業

文化庁 委託事業

本事業は、文化庁著作権課の「令和4年度海賊版対策事業(トレーニングセミナー)」を受け、特定の国・地域等における海賊版取締りの実効性を高めながら、正規版の流通を促進するため、東南アジア3カ国(シンガポール、タイ、フィリピン)の政府機関、および事業者の知財関係者を対象とした全3回のセミナーをオンラインで実施しました。

開催セミナー

● 第1回(Day 1):2022年12月9日(金)

タイ13:00-16:00/フィリピン&シンガポール14:00-17:00/日本15:00-18:00
 「現状把握と問題提起:3カ国の専門家との対話」

● 第2回(Day 2):2022年12月13日(火)

タイ13:00-16:00/フィリピン&シンガポール14:00-17:00/日本15:00-18:00
 「ケース・スタディ:3カ国の著作権侵害訴訟とIPビジネス成功例から学ぶこと」

● 第3回(Day 3):2022年12月20日(火)

タイ13:00-16:00/フィリピン&シンガポール14:00-17:00/日本15:00-18:00
 「近未来への提言:アニメーション映画『竜とそばかすの姫』世界的ヒットから考える、オリジナルIPの守り方と攻め方」

総合MC 弁護士 石堂瑠成氏(TMI総合法律事務所)

言語 英語(タイ語の同時通訳あり)

会場 オンライン(ZOOM Webinar利用)

※F studio SHIBUYA(東京都渋谷区)を配信拠点とし、司会・MC・通訳および運営スタッフが運営管理。国内外からの各登壇者は、オフィス等からリモートで登壇しました。



©2021 STUDIO CHIZU



配信拠点の様子



通訳拠点の様子

各国とも新型コロナウイルス感染症の流行などの影響を受け、著作権侵害が増加している状況が確認されるとともに、それぞれの国における著作権に関する法制度や最新の海賊版対策の情報について共有されました。また、海外展開にあたっては、相手国の著作権登録等の法制度を踏まえること、効率的・効果的にローカライズを進めることについての示唆が得られる内容となりました。

メディア芸術 海外展開事業

文化庁 委託事業

日本のメディア芸術を、世界へ

優れたメディア芸術作品を海外へ発信するため、年間を通じて複数回、世界のメディア芸術関連フェスティバル・マーケットにおいて、文化庁メディア芸術祭の受賞作品等の展示、上映、プレゼンテーション等を行っています。2022年度は3年ぶりにオンサイトでの参加となり、海外のプロフェッショナルや来場者とリアルなネットワーキングができました。さらにメディア芸術祭受賞作品を中心に、優秀な作品をキュレーションしたアニメーション・プログラムを制作し、海外の映画祭にて上映を行う等、海外での日本コンテンツの認知促進を目的に活動しました。

1 海外フェスティバル・マーケットでの出展

① アヌシー国際アニメーション映画祭 / 併設見本市 MIFA2022 (フランス)

概要

企画テーマに沿った、文化庁メディア芸術祭受賞作品を中心とした日本のアニメーション作品を9作品選出し、作品・作家紹介パネルなどをブースにて展示しました。ディレクター3名と作家(監督)1名をアヌシーへ招聘し、セミナーやMIFA主催のピッチングイベントなど、各種イベントに参加していただき、日本のアニメーションのプロモーションおよび海外ネットワークとの交流を図りました。また短編アニメーション作品をまとめたプログラムを上映しました。

- 会期:フェスティバル/2022年6月13日(月)~18日(土)、MIFA/2022年6月14日(火)~17日(金)
- MIFA参加者数:13,248人
- 企画テーマ:Inspired and Audacious: Women Creators in Japanese Animation (自由な発想、大胆な挑戦~日本の女性アニメーション制作者たち)
- 企画ディレクター:岡本美津子氏(東京藝術大学大学院教授/副学長[デジタル推進担当])
- 企画コ・ディレクター:関 弘美氏(東映アニメーション株式会社 企画部IP戦略室プロデューサー) 若見ありさ氏(アニメーション作家、東京造形大学准教授)

実施内容

- ① 作品・作家展示 『Sonny Boy』藤野真里氏(美術監督)/『骨喰み』矢野ほなみ氏(監督)/『不安な体』水尻自子氏(監督)/『魔女見習いをさがして』鎌谷 悠氏(監督)、中村章子氏(作画監督)/『I'm Late』冠本佐和子氏(監督)/Pokémon Special Music Video 『GOTCHA!』松本理恵氏(監督)/『Blink in the Desert』副島しのぶ氏(監督)/『平家物語』山田尚子氏(監督)、吉田玲子氏(脚本家)/『游子の子』(G9+1『穴』)一色あづる氏(監督)
- ② 実施イベント ● MIFA パートナー・スクリーニング/QA登壇者:岡本美津子氏、関 弘美氏、若見ありさ氏、鎌谷 悠氏 ● MIFAキャンパス/登壇者:岡本美津子氏、関 弘美氏、若見ありさ氏、鎌谷 悠氏 ● ジャパンレセプション ● 参加イベント ● MIFA ミート・ザ・プログラマー(7団体のフェスティバルにピッチを実施)



② アルスエレクトロニカ・フェスティバル2022 (オーストリア)

概要

芸術・先端技術・文化の祭典で、メディアアートに関するイベントとしては、世界最大級の規模を誇る「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」では、メディア芸術祭受賞作品および受賞作家の作品を現地で展示するとともに、アーティスト2名と企画ディレクターをリンツに招聘し、フェスティバルに参加いただきました。

- 会期:2022年9月7日(水)~11日(日) ● 参加アーティスト:953人・来場者数:71,000人 ● 企画テーマ:next to me, next to you ● 企画ディレクター:山本麻友美氏 (キュレーター/アートマネージャー/京都芸術センター アーツアドバイザー)

実施内容

- ① 作品展示 ● 『舞姫』山内祥太氏/『三千年後の投写術』平瀬ミキ氏 ● 実施イベント ● 『舞姫』パフォーマンス 山内祥太氏(4日間開催)



③ 第74回フランクフルト・ブックフェア (ドイツ)

概要

当事業では初めての参加となった「フランクフルト・ブックフェア」は、世界中の出版社やエージェントが集まる世界最大の書籍の見本市です。日本パビリオンに文化庁メディア芸術祭のブースを出展し、メディア芸術祭受賞作品・審査委員会推薦作品の中から女性マンガ家による6作品を紹介しました。海外での作品・作家の周知や版權販売促進を目指し、パネル展示に加えて、海外出版社・バイヤー向けのショーケース・プレゼンテーションを実施しました。



- 会期:2022年10月19日(水)~20日(木)(ビジネスのみ)、10月21日(金)~23日(日)(パブリックデー) ● 会場:メッセ・フランクフルト(ドイツ・フランクフルト) ● ビジネス関係来場者:93,000人・一般来場者数:87,000人
- 企画テーマ:The Deep and Diverse World of Female Japanese Manga Artists (日本の女性MANGA家の深くて多様な世界)

実施内容

- ① 作品・作家展示 『鼻下長紳士回顧録』Memoirs of Amorous Gentlemen 安野モヨコ氏/『父のなくしもの』All the Things My Father Lost 松田洋子氏/『かしくて勇氣ある子ども』A Smart and Courageous Child 山本美希氏/『あした死ぬには、』Since I Could Die Tomorrow 雁 須磨子氏/『グッバイ・ハロー・ワールド』Good-bye Hello World 北村みなみ氏/『思えば遠くにオブスクラ』A Lens So Far Away 靴下ぬぎ子氏
- ② 実施イベント ● マンガ・ショーケース・プレゼンテーション(3回実施) ● ネットワーキング・カクテル(3回実施)

④ 第28回マンガバルセロナ (スペイン)

概要

毎年スペイン、バルセロナで開催される「マンガバルセロナ」は、マンガを通して日本の文化を紹介するスペイン最大のマンガフェスティバルです。今年度は第25回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞の『ダーウィン事変』(うめざわしゅん氏/講談社)の作品展示、およびうめざわ先生によるオンラインでのマスタークラス、Q&Aセッション等を実施しました。 ● 会期:2022年12月8日(木)~12月11日(日) ● 来場者:163,000人

実施内容

- ① 作品紹介パネル設置 ● 『ダーウィン事変』/うめざわしゅん氏(講談社) ● イベント実施(オンライン)
- Q&Aセッション ● マスタークラス ● プログラム上映(2回上映)

2 プログラム上映

メディア芸術祭受賞作品を中心にキュレーションした3つのアニメーション・プログラムを制作し、8つの海外フェスティバルにて上映しました。

プログラム

- ① [Inspired and Audacious: Women Creators in Japanese Animation] (8作品収録) ● ② [第25回文化庁メディア芸術祭受賞作品集] (9作品収録) ● ③ [メディア芸術祭受賞作品 幸 洋子特集] (9作品収録)

上映フェスティバル

アヌシー国際アニメーションフェスティバル/MIFA2022(フランス)、ウォーターピーシーズ2022(ラトビア)、カメラジャパン・フェスティバル ロッテルダム2022(オランダ)、Romics2022(イタリア)、Microwave International New Media Arts Festival 2022(中国)、BITBANG 2022(アルゼンチン)、ルッカ コミックス&ゲームズ2022(イタリア)、第28回マンガバルセロナ(スペイン)



人材育成

文化庁メディア芸術クリエイター 育成支援事業キュレーター等 海外派遣プログラム

公益財団法人画像情報教育振興協会 委託事業

アルスエレクトロニカでの実地研修プログラムを通じて、新しい文化、新しい枠組みを作り出せる次世代のキュレーターや文化プロデューサーとして幅広く活躍する人材の育成を目指し、実施いたしました。

実施内容

募集・選考

- 募集期間:2021年11月15日(月)~2022年1月4日(火)
- 選考期間:2022年1月5日(水)~1月28日(金)

採択者派遣

- 研修期間:2022年5月16日(月)~10月31日(月)
- 研修場所:アルスエレクトロニカ(オーストリア・リンツ市)
- 採択者:鹿又亘平氏(キュレーター/リサーチャー)



鹿又亘平氏

コンテンツ業界向け セミナー&ワークショップ

自主事業

コンテンツ業界向けに特化した人材育成を
メインにセミナーやワークショップを開催

セミナー 福井健策弁護士 コンテンツ法律セミナー

開催日 2022年5月20日(金)、12月16日(金) オンライン開催

講師 福井健策氏(弁護士[日本、ニューヨーク州]/日本大学芸術学部、神戸大学大学院、iUほか客員教授)

第13弾 「2時間で俯瞰する、メタバースの法律問題」

メタバース上でのビジネス展開は、アイデア次第では、企業にとって大きなビジネスチャンスとなります。誰もが知りたいメタバースの実用例の紹介から権利問題、その他の法律問題を広く学びました。

第14弾 「デジタルマーケットの著作権処理〜クリエイター発信、n次創作、メタバース市場の権利実務と未来〜」

本講座ではサイバースペースの実際の紹介から新しい知的財産を考える視点を学びました。デジタルマーケットにおいては情報が自由に流通して活性化していくことが理想ですが、様々な問題も起こってきます。法制度だけでなく多様なツールを組み合わせることで、新しいサイバー空間が新しい経済圏になることへの期待は増すばかりです。



福井健策弁護士

セミナー 「WEB3.0で多様化する映像制作の資金調達 〜DAO・NFT分散型プロジェクトの可能性〜」セミナー

国内外で新たに注目されているWEB3.0にスポットを当て、DAO、NFT等を利用した映像の資金調達の可能性を解説しました。また、WEB3.0をとりまくデータの所有権や著作権問題も含め、今後の展望についても幅広く取り上げました。59名が参加し、講師の経験に基づいた解説だったためわかりやすかった等、好意的なご意見を多くいただきました。

開催日 2022年7月21日(木) オンライン開催

講師 川瀬好一氏(株式会社ゼノトゥーン CEO/Founder)

セミナー VIPO×SOZO presents 「AFA (ANIME FESTIVAL ASIA) 紹介」セミナー

東南アジア最大級のジャパニーズポップカルチャーイベントの歴史や概要の紹介にとどまらず、シンガポールをはじめとした東南アジアにおけるエンタメビジネスの最新情報を提供しました。44名が参加し、具体的なイベントの状況とあわせて東南アジアにおける現地のリアルな声が聞けて、大変わかりやすかった等、イベントへの関心の高さが伺えました。

開催日 2022年8月26日(金) オンライン開催

講師 Shawn Chin氏(SOZO PTE LTD 創業者)

セミナー 城西国際大学 業界研究セミナー

今年4回目となる城西国際大学メディア学部の学生向けの、業界紹介セミナーは、3年ぶりにリアル開催いたしました。現場でお互いの顔を見ながら講義ができることは、大変重要であり、質疑応答の場面などでも、大変有意義な場になることを実感いたしました。

開催概要

■2022年10月29日(土)

第1部 13:30-14:30 【イベント企画運営(音楽・ステージ等)の登壇企業:①株式会社東京音響通信研究所 ②株式会社プロマック】

第2部 15:00-16:00 【芸能プロダクションの登壇企業:①株式会社ムーブマン ②アンビシステム株式会社】

■2022年11月12日(土)

第1部 13:30-14:30 【広告・プロモーション登壇企業:①株式会社サニーサイドアップ ②Collab Japan】

第2部 15:00-16:00 【映像/アニメ制作登壇企業:①ダイナモミュージメント ②マーザ・アニメーションプラネット株式会社】

参加者:250~300名(後日のアーカイブ配信参加も含む)

セミナー テレビドラマ制作セミナー

話題のオリジナルドラマを生み出す第一線で活躍する脚本家とテレビプロデューサーによるセミナー。日本のオリジナルドラマの海外展開や今後の展望について、SNSを活用した宣伝展開のお話などをモデレーターの大石静氏がお聞きしました。一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム共催。

開催日 2022年11月22日(火) オンライン開催

テーマ 「日本発オリジナルドラマの真髄」

講師 大石 静氏(脚本家)、貴島彩理氏(株式会社テレビ朝日 ドラマプロデューサー)

モデレーター さらだたまこ氏(放送作家)



大石 静氏



貴島彩理氏

セミナー 映画プロデューサー養成講座 基礎編 第7弾

「映画」を題材に映像コンテンツ制作に必要な不可欠なプロデュースの基礎知識を集中的に学びました。プロデューサーに求められる広義の知識を体系立てて学べる本講座では「脚本」に重点を置いており、受講者は、読む力、書く力を養うためのノウハウを中心に学びました。

開催日 2022年12月6日(火)、7日(水)〈2日間〉リアル開催

講師 安藤紘平氏(映画監督・早稲田大学名誉教授)

最終日ゲスト 山本晃久氏(映画プロデューサー『ドライブ・マイ・カー』、『スパイの妻<劇場版>』)



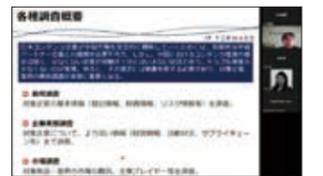
山本晃久氏 安藤紘平氏

セミナー 中国ビジネス攻略セミナー

中国の規制緩和に基づき各種イベントへの参加や旅行者の増加など、ビジネスチャンスが増えはじめています。今回は、このような急激に変化する中国の最新情勢を紹介しつつ、日本のコンテンツが中国に進出するための問題点や課題の検証、日本コンテンツ関係者のビジネスチャンスとなりそうなポイント、中国規制緩和における最新情報とその見通しについて紹介していただきました。ビジネス編は、「中国コンテンツ市場(映画、アニメ、動画配信、ゲーム、音楽、漫画・小説、商品化等)の最新概況」や「中国市場におけるよくあるトラブル例と対処法」を中心に、また法務編は、「中国コンテンツ関係法規概要および最新動向」「典型契約締結時の注意点、レビューのポイント、日中間での契約の考え方の違い」などを中心に講義いただきました。

開催日 2023年2月 ①ビジネス編:2月9日(木) ②法務編:2月15日(水) オンライン開催

講師 分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表/CEO)



セミナー ショーランナーセミナー

講師は、テレビシリーズ『SHOGUN』のショーランナーであるジャスティン・マークス氏。日本の制作現場では、まだ馴染みの薄い「ショーランナー」の役割や、企画開発から制作までの業務の流れ、脚本家との違いなどについて、2時間の講義をしていただきました。ジャスティン・マークス氏は、ハリウッドで実際に脚本家、プロデューサー、そして、ショーランナーとして活躍されており、『Top Gun: Maverick』では原案者として、本年度のアカデミー賞「脚色賞」にもノミネートされた方です。ご自身の実体験をもとにハリウッドにおける映画とシリーズの違いや、テレビシリーズ『SHOGUN』のケーススタディ、企画に関わるきっかけから企画・脚本開発、ライターズルームや、プリプロから撮影、ポストプロまでの流れの説明なども含めた充実した講義となりました。映像制作関係者やプロデューサーなど、多くの方々にご参加いただき、大変好評を得ました。

開催日 2023年3月16日(木) オンライン開催

登壇者 ジャスティン・マークス氏(脚本家、プロデューサー、ショーランナー)



セミナー&ワークショップ オリジナルアニメの企画作成講座

制約の中で発想するオリジナルアニメの企画をつくりあげていくプロセスを実践的に学びました。講師の出した「お題目」に対して、参加者全員でアイデアをまとめ、最終的に個人が企画を発表できるまでの2日間でした。アニメのプロデューサー、ディレクター、脚本家を目指す意欲ある10名が参加されました。

開催日 2023年3月22日(水)、29日(水)〈2日間〉リアル開催

講師 小林雄次氏(脚本家・小説家)

1日目ゲスト講師:内田裕基氏(脚本家)

2日目ゲスト講師:伊藤志穂氏(東映アニメーション・プロデューサー)



小林雄次氏

VIPO Film Lab

自主事業



グローバルな視野を持ち国内外で活躍できる
プロデューサー、監督、脚本家など
業界プロフェッショナルを育成する場、それが【VIPO Film Lab】です。
実践トレーニング、ワークショップ、オンライン講座など、目的別に様々な
人材トレーニング等を行っています。

1. 脚本コース@ウディネ

2021年6月～11月に開催した国際プロデューサーコースに引き続き、脚本をブラッシュアップするための脚本コースを2022年4月26日(火)～29日(金)の4日間で開催いたしました。

ヨーロッパのプロデューサー育成機関EAVEとVIPOのパートナーシップによって開催された本プログラムに、今年は下記3名(順不同)のプロデューサーが選出され参加しました。

- 後藤美波氏
- 朱 永菁氏
- 柳本千晶氏

また、本プログラムのアドバイザーとして、和エンタテインメントの小野光輔プロデューサーにもご参加いただきました。

今回は実際にイタリア・ウディネへ渡航し、最初の3日間、「ファーイースト映画祭」のFocus Asia (インダストリー部門)およびEAVE主催のラボTies That BindのASIA / EUROPE CO-PRODUCTION WORKSHOPの一部講義に参加し、最終4日目は、事前に提出いただいたそれぞれの企画の脚本に対し、EAVEのスク립ト・コンサルタントであるClare Downs氏による1対1の脚本ブラッシュアップミーティングを受けていただきました。また、毎日のランチやディナーの時間では、3年振りのリアル開催となった映画祭に集まった、アジアとヨーロッパのプロデューサー、映画祭プログラマー、セールスエージェント、配給会社のバイヤー等の映画業界関係者とネットワークする機会がカンヌやベルリンのような大きな映画祭とは違ったアットホームでカジュアルな雰囲気の中行われました。今回のプログラムを通してブラッシュアップされた脚本が、国際共同製作映画として、世界へ羽ばたいていくことを期待します。



2. 国際プロデューサーコース

昨年に続き、映画の国際共同製作を推進し国際的な感覚や知識を持ち、広く世界で活躍する若手プロデューサーを育成することを目的として、2022年7月から12月にかけて「VIPO Film Lab」国際プロデューサーコース(全10回)を開催いたしました。

国際的に活躍できる若手プロデューサー育成のため、6ヶ月にわたり、世界の映画祭やマーケットの機能、セールスエージェントや企画マーケットの役割、そして、オリジナル脚本の分析や国際共同製作のケーススタディなど、映画の国際共同製作・海外展開を目指していくうえで必要となる知識を包括的に学べる講義を実施。国内外の経験豊富な業界エキスパートや現役で活躍するプレイヤーを講師陣に迎え、即実践で活用できる基本的な知識やテクニックを身につけることを目指しました。



【開催期間】 2022年7月7日(木)～12月22日(木) (全10回)オンライン開催
(※第3回講義の開催日は7月21日から12月22日に変更。)

【参加者】 松竹、テレビマンユニオン所属プロデューサーやインディペンデント・フリーランスのプロデューサー等国際的な活動を志望するプロデューサー(23名)

【講義内容 および講師】 第1回:7月7日(木) 16時～18時 「映画祭戦略 -プログラマーの仕事について-」

矢田部吉彦氏 (元東京国際映画祭プログラマー)

ゲスト講師①:Paolo Bertolin氏(映画祭プログラマー/ヴェネツィア国際映画祭、カンヌ国際映画祭監督週間など)
ゲスト講師②:Kim Young-woo氏(映画祭プログラマー/DMZ国際ドキュメンタリー映画祭、釜山国際映画祭など)

● 第1回講義「映画祭戦略 -プログラマーの仕事について-」では、映画祭の裏側、上映作品を決定するプログラマーの仕事や役割、日本映画の選定などについて、海外ゲスト2名を迎え幅広い視点でご紹介いただきました。

第2回:7月14日(木) 16時～18時 「国際映画製作ケーススタディ 1『PLAN 75』『海辺の彼女たち』」

水野詠子氏(映画プロデューサー)、渡邊一孝氏(映画プロデューサー)

● 第2回講義「国際映画製作ケーススタディ 1『PLAN 75』『海辺の彼女たち』」では、『PLAN 75』の水野詠子プロデューサーおよび『海辺の彼女たち』の渡邊一孝プロデューサーに登壇いただき、それぞれの作品の国際共同製作に至るまでのバックグラウンドや経緯、そして実際の制作や公開までの流れをケーススタディとして紹介いただきました。

第3回:12月22日(木) 16時～18時 「セールスエージェントの役割」

Esther Yeung氏 (We Pictures、元Fortissimo Films)

● 第3回講義「セールスエージェントの役割」では、講師の経験を基にセールスエージェントの業務内容や映画プロデューサーとの関係、映画祭戦略やその後のビジネス展開等についてお話しいただき、後半では実際に講師が担当した作品のケーススタディについてご紹介いただきました。 ※講師の都合により開催日を7月21日から12月22日に変更

第4回:8月4日(木) 16時～18時 「世界の映画祭と映画マーケットについて」

長谷川敏行氏 (SKIPシティ国際Dシネマ映画祭プログラミング・ディレクター)

● 第4回講義「世界の映画祭と映画マーケットについて」では、映画祭の役割や参加する目的から始まり、世界3大映画祭を始めとする代表的な国際映画祭の背景やプレミアステータスの種類、ジャンル系の映画祭やマーケット、そして、映画祭に付随する主な人材育成や助成金プログラムまでを幅広い視点でご紹介いただきました。

第5回:8月18日(木) 17時～19時 「ヨーロッパのワークショップについて」

Alessandro Gropplero氏 (Focus Asia)

● 第5回講義「ヨーロッパのワークショップについて」では、講師が運営しているウディネ「ファーイースト映画祭」のマーケットFocus Asiaのワークショップや国際共同製作のワークショップTies That Bindの紹介から始まり、日本やアジアのプロデューサーにとって参加メリットがあると思われる各国のワークショップやラボについて幅広く紹介いただきました。

第6回:8月25日(木) 10時～12時 「企画のパッケージングとピッチについて」

Shrihari Sathe氏(映画プロデューサー、コロンビア大学講師)

● 第6回講義「企画のパッケージングとピッチについて」では、具体的に映画企画のパッケージングに必要な要素やプロデューサーに求められるスキルについて紹介いただき、後半では受講生数名からピッチを募り、それに対してフィードバックをするという実践的な内容で実施しました。

【講義内容】
および講師

第7回:9月1日(木) 19時~21時 「オリジナル脚本の進め方 ベーシック理論」

Clare Downs氏 (eave) <eave_Ties That Bind/VIPO共同開催>*1

● 第7回講義「オリジナル脚本の進め方 ベーシック理論」では、具体的に2本の映画を例に脚本の構造分析を行い、脚本の構成の違いについて詳細な分析を行いました。そして、脚本の基本的な三幕構成やシーケンスの構成について、様々な資料を基に紐解いていただきました。

*1 eave_Ties That Bind:ヨーロッパとアジアによる国際共同製作を目指すワークショップ。アジアと共同製作経験のあるヨーロッパ映画業界関係者等がメンターとなり、脚本開発、資金調達、マーケティング、コプロダクションの契約などを学ぶトレーニングプログラムを提供。プログラムは、春と秋の2回、ウディネ(イタリア)とシンガポールで開催され、グループワークや個別セッション形式で行われる。 公式サイト www.tiesthatbind.eu

第8回:9月8日(木) 19時~21時 「国際共同製作について」

Christophe Bruncher氏 (eave) <eave_Ties That Bind/VIPO共同開催>*1

● 第8回講義「国際共同製作について」では、国際共同製作の基本的な枠組や目的、構造の理解、そして共同製作を進めていく上で必要となる各国の助成金や支援についての基本知識やリソースについて、実際に講師によるケーススタディも交えながら詳細にご紹介いただきました。

第9回:9月22日(木) 16時~18時 「海外プレスの仕事について」

高松美由紀氏 (株式会社フリーストーンプロダクションズ代表)

● 第9回講義「海外プレスの仕事について」では、国際映画祭や映画マーケットにおける海外プレスの役割や仕事内容、そして映画プロデューサーにとって重要なポイントや戦略の考え方などについて、ディスカッション形式にて幅広くご紹介いただきました。

第10回:9月29日(木) 16時~18時 「国際映画製作ケーススタディ 2」

福岡美由紀氏 (分福プロデューサー)

● 第10回講義「国際映画製作ケーススタディ 2」では、日本における映画概況や海外展開についての紹介から始まり、福岡プロデューサーが担当された是枝裕和監督による韓国映画『ベイベー・ブローカー』をケーススタディとして、企画~制作までの国際映画製作の過程について幅広く、かつ韓国での制作の過程を詳細にご紹介いただきました。

<プラットフォーム釜山での取組み>

国際プロデューサーコースに参加した参加者の中から有志を募り、「釜山国際映画祭」が主催するアジアをベースに活動する映画製作者のためのネットワーキング・プラットフォームに参加いただきました。最終的に6名の若手プロデューサーが現地へ渡航し、プレゼンテーションやネットワーキング・イベントに参加。映画祭やビジネス・マーケットにも積極的に参加し、新しいネットワークづくりや今後の可能性を探すきっかけづくりとして活用いただきました。



プラットフォーム釜山

【開催日】 2022年10月8日(土)~11日(火) (4日間)

【参加者】 「釜山国際映画祭」に初めて参加する若手プロデューサー (6名)

3. 映画の企画脚本講座

オリジナル映画企画を作成することに主眼をおいた講座を初めて開催しました。あたためているオリジナル企画を映画化までどのように具現化していくのか。本講座ではシナリオの幹となるものをいかにつくっていくかをテーマに講師とともに参加者同士でもディスカッションできる機会を設けました。

【開催日】 2022年9月13日(火)、14日(水) (2日間)

【講師】 加藤正人氏 (脚本家、映画『クライマーズ・ハイ』『凧待ち』)

【参加者】 脚本家、映画プロデューサー、長編映画監督をめざす12名



4. VIPOスカラシップ

[VIPO Film Lab]参加者の出口として、ヨーロッパ最大の国際プロデューサー育成組織EAVEが実施するプロデューサー・ワークショップ(EAVE Producer's Workshop)に選出された日本人プロデューサーへのスカラシップの支給を実施しました。

【参加プログラム名】 「EAVE Producer's Workshop 2022」

ヨーロッパ最大の国際プロデューサー育成団体であるEAVEによるプロデューサーの育成、映画業界に関わる人物の育成、また企画開発を目的に開催されるワークショップ。参加者は書類選考と面接を受け、最終選定されました。2022年の回には55名が参加。約8割以上はヨーロッパからの参加となりました。

【開催期間】 ①ルクセンブルク:2022年3月4日(金)~11日(金)

②パルヌ(エストニア):2022年6月10日(金)~17日(金)

③バルセロナ:2022年10月17日(月)~24日(月)

【参加者】 プロデューサー・水野詠子氏、ほか監督1名



5. 俳優コース

第一線で活躍されている映画監督による「俳優育成ワークショップ」

【開催日】 2022年10月6日(木)、13日(木) (2日間)

【講師】 犬童一心監督

【参加者】 俳優18名

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する映画監督による俳優養成の2日間集中講座を開催。監督から課題が与えられ、台本を書き、一人芝居に挑みました。俳優ひとりひとりに直接演技指導を行い、参加者からは有益度100%という満足度の高いアンケート結果が得られました。



6. 監督コース

本年度新設の「監督コース」を2022年11月~12月に実施いたしました。フランス国立映画学校(FEMIS)や海外で教鞭をとるブリス・コヴァン氏を講師に招き、4名の監督に映画監督として国際的に活躍するために必要な映画表現や専門知識を提供した本コースは、講義と実習を合わせたボリュームのあるワークショップとなりました。

※東京藝術大学大学院協力のもと、国際映画芸術表現研究

「国際演出領域ワークショップ」をモデルにしたプロジェクトです。

※講師は英語で話し、逐次通訳が入りました。



【開催日】 2022年11月28日(月)～12月2日(金)

【講師】 プリス・コヴァン氏

15年にわたり、フランスやアメリカで助監督として、モーリス・ピアラ、パトリス・ルコント、ニコール・ガルシア、ピエール・サルヴァドール監督等に就く。ローラン・リュカとアヌーク・エーメ主演によるデビュー作『Hotel Harabati』は2006年「ベルリン国際映画祭」フォーラム部門に出品され、Variety Award を受賞。現在は、舞台の演出の準備や新作の脚本を手がけるとともに、俳優の演出についてフランス国立映画学校(FEMIS)や海外で教えている。

【参加作家】 4名

【スケジュール・プログラム内容】 1日目:2022年11月28日(月)講師による演出についての講義

2～5日目:2022年11月29日(火)～12月2日(金)実践ワークショップ



参加者はひとり1日を使って「監督」として俳優を演出し、撮影、ラッシュ上映まで進めます。全ての過程は講師がアドバイスを出しながら進行し、ラッシュ上映の後に1日を振り返りながら講評・意見交換を行いました。「監督」以外の3名は、スタッフとして監督をサポートしながら指導を見て学びを得ました。

【参加者からのコメント(抜粋)】

- 俳優が中心にある演出を身をもって経験でき、自分に足りないものがわかった。純粋に演出のあるべき姿の一例を、身をもって体験できました。
- 本当に素晴らしいWSなので、若い人もベテランもぜひ受講すべきだと思います。他の方の演出を見るのもすごく勉強になります。
- いっぱい失敗できたことが良かったです。普段自分がやる作風や演出などは忘れて、いろいろなチャレンジをできたことで考え方の幅が広がったと思います。特に役者さんとのコミュニケーションの大事さや現場での客観性は4日間の実践ですごく感じられたので、良かったです。
- 役者さんに聞いてみる、またプリスさんが指摘したことを考えてみると、なぜか自然と深くくなっていく。自分のビジョンをしっかりと持たなくては、と思ってきましたし、それを形にしていくものが映画と監督と制作とと思ってきましたが、もっと「探して」みよう、と実感しました。すごく勉強になりました。自分の美意識も考え方も深まりました。
- 今まで培った自分なりの本読みやリハーサル、ブロッキングをプリスさんに見ていただき、その場でいただいたご助言をすぐに試してみて、違いを認識できたことが大変面白く、勉強になりました。

7. 映画の企画開発講座(新規)

【開催日】 2023年2月28日(火)、3月1日(水)(2日間)

【講師】 池端俊策氏(脚本家)、米倉リエナ氏(演出家、演技講師、キャスティング・ディレクター 奈良橋陽子氏主催UPS所属)

【モデレーター】 篠原 圭氏(NHKエンタープライズ)

映画の企画を作成することに主眼を置いた講座をリアル開催しました。選考された10名の受講者が自分の企画案をどのような作品にしたかを講師陣に説明。その企画案をモデレーターである篠原氏が解説し、池端講師からの講評・アドバイスをいただきました。米倉講師からは海外に視点を向けたアドバイスをいただきました。また奈良橋陽子氏から受講生ひとりひとりへのコメントも米倉さんから伝えていただきました。脚本家志望、映画プロデューサー志望の方が参加しました。



人材育成

AFI Conservatory 日本人留学生 推薦事業

自主事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すとともに、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2022年度は2023年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集。本年度は1名を推薦し、結果、戸田義久氏が撮影監督/Cinematographyコースに合格いたしました。



AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタル・メディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督/監督/編集/プロデューサー/美術/脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。



戸田義久氏

調査・情報サービス

VIPO Integrated Support System (VISS)

自主事業

VIPO Integrated Support System(略称:VISS)は、日本のコンテンツ事業者の海外展開をサポートするためのリスト類です。現在のVISSは、以下の8つのリストで構成されています。

- 1)パイヤーズリスト、2)海外イベントリスト、3)ローカライズ事業者リスト、4)商品化エージェントリスト、5)発信事業者リスト、6)国別共同製作支援制度情報、7)国別表現規制情報、8)中国コンテンツ関連契約書雛形集

海外展開に課題を抱えている会社・個人をサポートするためにVISSの情報を活用しています。

JAPACON

自主事業



下記のサイト等を中心に情報発信を行いました。

JAPACON SNSページ(<https://www.facebook.com/japancontent/>)

JAPACONは下記に掲げる3項目を目的に活動しています。

1. 海外へのコンテンツ流通の促進
2. クールジャパン情報の海外発信
3. 全国の良質なコンテンツの海外への発信

日本書籍翻訳・普及事業

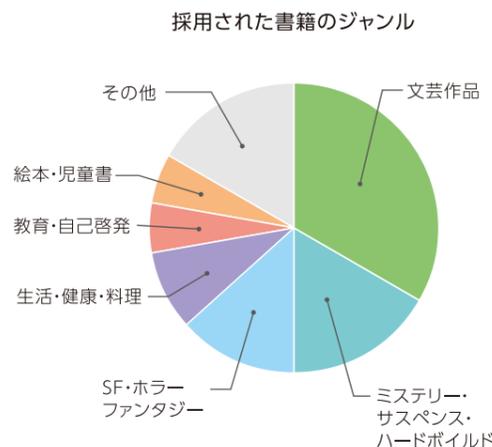
新規事業

文化庁 委託事業

日本の多様で豊かな活字文化を海外へ発信・普及させるためのプロジェクトを推進しました。国内で出版される多くの優れた書籍を海外の出版社から出版・流通させるための事業とともに、翻訳家を発掘・育成することを目的とした翻訳コンクール事業を実施。これらの事業を通じて、日本の書籍の翻訳家を支援するとともに、日本の書籍が数多く翻訳され、海外での普及が促進することを目指しました。

海外における日本書籍の出版・流通にむけた翻訳助成事業

日本の書籍を海外にライセンスアウトする際の営業や交渉において必要となる企画書の翻訳・作成とサンプルの翻訳に係る費用の助成事業を実施しました。企画書の翻訳・作成については100件、サンプルの翻訳は22件が採択され、助成を受けた書籍から海外での出版契約が決まる成約事例が続々と増えています。



【採択事業者(29事業者)】

株式会社朝日新聞出版、アチーブメント出版株式会社、SBクリエイティブ株式会社、株式会社学研プラス、株式会社KADOKAWA、株式会社河出書房新社、株式会社講談社、株式会社光文社、株式会社コルク、株式会社サンクチュアリ・パブリッシング、株式会社サンマーク出版、株式会社集英社、株式会社主婦と生活社、株式会社小学館、株式会社新潮社、学校法人玉川学園、株式会社鳥影社、東京書籍株式会社、株式会社東京創元社、株式会社東洋経済新報社、株式会社徳間書店、株式会社日経ビーピー、株式会社早川書房、株式会社福音館書店、株式会社双葉社、株式会社文藝春秋、株式会社ポプラ社、株式会社三笠書房、株式会社みすず書房

「フランクフルト・ブックフェア」での採択作品のプロモーション

「フランクフルト・ブックフェア」のジャパンブース内に「Japan Book Bank」(p.35参照)と共同で本事業のブースを出展し、助成金に採択された書籍のプロモーションを実施しました。



「フランクフルト・ブックフェア」でのプロモーションの例

- 書籍や企画書、サンプル翻訳の展示
- 特設ウェブサイトによるオンライン展示
- 作家・若竹千佐子氏をお招きしたトークショー

「JLPP翻訳コンクール」および翻訳ワークショップの開催



日本の優れた文学作品を翻訳して世界に発信し、文学水準の一層の向上を図るとともに、将来を担う翻訳家の育成等を目的として、第7回JLPP翻訳コンクール(英語部門・フランス語部門)を開催しました。また第6回JLPP翻訳コンクールの受賞者(英語部門、スペイン語部門)を対象に、現代日本文学の翻訳家をを目指す方々のスキルアップ等を目的としたワークショップや翻訳家を志す方や出版関係者に向けたシンポジウム「BUNGAKU DAYS 2023 SPRING」を実施しました。



■「第7回 JLPP翻訳コンクール」

応募受付期間: 2022年6月1日(水)~6月30日(木)
受賞者発表日: 2023年2月1日(水)

課題作品

- ① 小説部門(川上弘美著『夏休み』)
- ② 評論・エッセイ部門(保坂和志著『言葉の外へ——文庫まえがき』)

応募人数 英語部門 256名、フランス語部門 117名

審査員 <英語部門>

- 柴田元幸氏(アメリカ文学翻訳者、東京大学名誉教授)
- Lucy North氏(日本文学翻訳家)
- 都甲幸治氏(翻訳家、早稲田大学文学学術院教授)
- Allison Markin Powell氏(日本文学翻訳家、PENアメリカ翻訳委員会評議員)

<フランス語部門>

- 野崎 敏氏(フランス文学者、放送大学教養学部教授、東京大学名誉教授)
- 博多かおる氏(上智大学文学部フランス文学科教授)
- Anne Bayard-Sakai氏(日本文学研究者、翻訳家、フランス国立東洋言語文化大学教授)
- Jacques Henrik LEVY氏(明治学院大学文学部フランス文学科教授)

英語部門受賞者

- 最優秀賞(1名)
- カミール・スパイチャルスキ氏(オーストラリア)
- 優秀賞(2名)
- ダグラス・ヤーン氏(スウェーデン)
 - キャサリン・レベッカ・マー氏(ニュージーランド)

フランス語部門受賞者

- 最優秀賞(1名)
- アケレル樹里氏(フランス/日本)
- 優秀賞(2名)
- ハラルド・ウェンドラー氏(スイス)
 - ジェラルディヌ・ウダ氏(フランス)



■「BUNGAKU DAYS 2023 SPRING」(オンライン開催)

2023年2月26日(日)配信

- 「第7回 JLPP翻訳コンクール」受賞者発表
- シンポジウム「翻訳家にとって作品との出会いとは」
セッション① 柴田元幸氏(翻訳家、東京大学名誉教授)、Allison Markin Powell氏(日本文学翻訳家、PENアメリカ翻訳委員会評議員)
- シンポジウム「世界が注目する日本女性文学の現在」
セッション② 野崎 敏氏(東京大学名誉教授、放送大学教養学部教授)、Anne Bayard-Sakai氏(日本文学研究者、翻訳家、フランス国立東洋言語文化大学教授)
- シンポジウム「世界が注目する日本女性文学の現在」
セッション③ ソコロワ山下聖美氏(日本大学芸術学部文芸学科教授)、鴻巣友季子氏(翻訳家、文芸評論家)



次回、「第8回JLPP翻訳コンクール」は英語部門を実施します。応募受付期間は2023年6月1日(木)~6月30日(金)を予定しています。

JLPP翻訳コンクールウェブサイト <https://www.jlpp.go.jp/>

海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」

自主事業

「Japan Book Bank」は、日本の出版コンテンツの翻訳出版に興味を持つ海外の出版社や、映像化を希望する映像制作会社やプロデューサー向けに構築した日本の出版コンテンツを検索できるウェブサイトです。日本の書籍・出版コンテンツと海外の出版コンテンツ関連企業等をマッチングさせ、日本の出版コンテンツの海外展開を促進することを目的としています。

「Japan Book Bank」でできること

●オンラインカタログとして出版コンテンツの検索がいつでも可能
幅広いジャンルでの日本の出版コンテンツを日本語／英語で検索することができます。

- ・文芸
- ・文庫/新書
- ・実用書
- ・コミック
- ・児童書/絵本
- ・ビジネス書 他

●言語別著作権許諾情報を掲載

商談前に本サイトを利用することで、効率の良い商談が可能となります。 ※著作権情報は、ID登録者のみに公開されます。

*「Japan Book Bank」は、映画、テレビ番組、アニメ、キャラクター、音楽、ゲーム、脚本、ロケ地情報、クリエイターなどのデータベース一括検索システム「Japan Content Catalog」(japancontentcatalog.jp、通称：JACC®)と連携しています。

ローンチから2年で成約数は110件を突破！国内の登録出版社数は150社以上
海外向け“成果の出る出版BtoBサイト”として成長中。

2021年3月18日(木)のサイトオープン以来、約2年間で登録出版社数は150社を超え、掲載書籍数も4,300冊以上と順調に成長を続けています。730名以上ものユーザーがIDを登録。サイトをきっかけとした成約も110件以上生まれています。

積極的な海外プロモーションを実施

英語圏での出版業界情報サイト「Publisher's Weekly」(米)と年間を通じて連携し、「Japan Book Bank」上での英語記事への誘導や、「Japan Book Bank」を特集したメールニュースの配信など、海外からのアクセスを促進しました。また、「フランクフルト・ブックフェア」では、ジャパンプース内に「日本書籍翻訳・普及事業」(p33-34参照)と連動した「Japan Book Bank」ブースを出展し、チラシやノベルティの配布を通じて来場者へ直接アプローチをしました。

※登録商標“JACC”は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。



<https://japanbookbank.com/>

●指定した窓口にて問い合わせを受信

メールアドレスを開示せずに海外からの問い合わせを受けることができます。 ※ID登録者のみ問い合わせが可能となります。

●「映像化の原作」としてアピール

トップページの特集等を活用し、映像化の原作として海外の出版社、映像制作会社やプロデューサーに効果的に発信することが可能です。



フランクフルトで配布したJBBチラシ

PWでのJBB紹介記事(フランクフルト時)

Japan Content Catalog (JACC®)

自主事業

Japan Content Catalog(略称:JACC®)は、①映画、②テレビ番組、③音楽、④ゲーム、⑤脚本、⑥ロケ地情報、⑦クリエイター、⑧書籍などの各コンテンツジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」でつなげ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。

JACC®は英語にも対応しており、日本のコンテンツホルダーと国内外のバイヤーとのマッチングを促進しています。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の8つで、2023年4月1日現在、英語での収録コンテンツ総数は約110,000件です。一部は中国語(簡体字)にも対応しており、その収録コンテンツ総数は約4,000件です。

※登録商標“JACC”は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。



国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」

自主事業



<https://japancreatorbank.com/>

Japan Creator Bankは、日本のエンターテインメント業界で活躍している日本のトップクリエイターを検索できるウェブサイトです。本サイトには、海外での仕事に強い興味と意欲を持っている日本のクリエイターが登録されています。Japan Creator Bankには、検索機能だけでなく問い合わせ機能も実装されていますので、本サイト上で仕事の相談・依頼等を行うことが可能です。日本のクリエイターと一緒に仕事をすることをお考えの方々にとっては大変便利な検索サイトです。

Japan Creator Bankでは、以下の日本のクリエイターを日本語／英語で検索することが可能です。

<p>脚本家</p> <p>映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の脚本家を紹介しています。</p>	<p>監督</p> <p>映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の監督を紹介しています。</p>	<p>声優</p> <p>アニメやゲーム等で活躍している日本の声優を紹介しています。</p>
<p>作曲家</p> <p>アニソン業界を中心に活躍している日本の作曲家を紹介しています。</p>	<p>映画プロデューサー</p> <p>映画で活躍し、実績のある日本のプロデューサーを紹介しています。</p>	

全国ロケーションデータベース の利用促進のための調査研究

文化庁 委託事業



本事業では、全国各地のフィルムコミッションが持つロケーション情報を一括検索できるシステム「全国ロケーションデータベース (JL-DB)」の充実化を軸に、そのデータベースを活用した映像作品の日本各地域への誘致や、国内外作品のロケーションに関わるさまざまな支援を行う地域のフィルムコミッションの体制強化等を目的としています。VIPOとジャパン・フィルムコミッション (JFC) *がコンソーシアムを形成し、共同で事業の実施／運営を行いました。

*ジャパン・フィルムコミッション (JFC):国内120以上のフィルムコミッション (FC) のネットワーク組織であり、世界およびアジアのFCネットワークの会員でもある。

< 主要事業内容 >

JL-DBシステム機能追加のための調査・実装、およびシステム運用保守・利用分析に関する業務

「全国ロケーションデータベース (JL-DB)」システムの機能追加を通じてJL-DBの利用促進を行うべく、現行システムの機能を見直し、必要な機能や項目に関する調査を実施。各地のフィルムコミッション (FC) が少ない手間でも情報更新ができるよう、FCが独自に持つロケ地データベースとJL-DBのロケ地データを連携する、自動連携機能の搭載をしました。また、実証実験として、映像制作者が時間や場所に関わらず「なかなか現地に行きにくい所」や「現地に行く前」にロケ地を確認できるよう、Googleストリートビューに未登録であったロケ地をFC監修の元に新規に特別撮影し、360°VRツアーリンクから、GoogleストリートビューでVRロケハンができる機能を、ウェブサイトとスマートフォンアプリに追加しました。



JL-DB登録データ充実のための調査等に関する業務

「全国ロケーションデータベース (JL-DB)」のコンテンツ (登録データ) について、地域のフィルムコミッション (FC) が持つ国内ロケ地や関連情報のさらなる充実化を図るとともに、他データベースとの連携促進、国内での海外作品製作の支援実績や問題点等の調査を実施。JL-DBが、国内のロケ撮影に関する一元的窓口サイトとして、より活用しやすい魅力的なデータベースとなることを目標としました。

JL-DBを通じた海外に向けた効果的な情報発信に関する調査

世界からの日本への関心がますます高まっている好状況を活かし、JL-DBがロケ地を探す海外映像制作者にとってより便利なツールとなるよう、海外からのアクセスの最適化、アクセス向上の調査と調査結果を反映させ、作業を実施。また、国内のロケ受入れ体制強化のため、海外映像制作者を招いたセミナーの開催や、「全国ロケ地フェア」での新JL-DBのPRのほか、利用促進につなげる調査等を幅広く行いました。

各フィルムコミッション (FC) への支援強化

全国のロケ地情報を持ち、JL-DBのコンテンツ充実化に大きな役割を担う各地域のフィルムコミッション (FC) の業務は、実際の国内外のロケ撮影の対応等により極めて多忙です。FC体制の強化を図るため、地域における撮影支援に必要な人材や地域の状況を調査し、FCをサポートができるロケエキスパートとなる人材の発掘や体制の構築を行うモデルケースを作って検証を行いました。

< 関連イベント情報 >

◆海外映像制作者の話が直接聞ける!「海外制作者セミナー」

開催日時 2023年1月17日 (火)

会場 ビジョンセンター東京八重洲南口 6階ビジョンホール

海外からゲストスピーカー3名を迎え、これまでに携わったハリウッドやマレーシア作品に関連したロケーション、各地域のフィルムコミッション (FC) との関わり、そして、コロナ禍での映像制作業界を取り巻く世界的な状況等について、豊富な知識と経験を基に語っていただきました。



◆「JFC全国ロケ地フェア2023」開催

開催日時 2023年1月16日 (月)

会場 東京都 時事通信ホール

「全国ロケーションデータベース (JL-DB)」のメインコンテンツの一つ「ロケ地情報」にフォーカスし、業界関係者だけでなく、一般層へも向けたイベントを開催しました。VRロケハン機能の認知を拡げるべく、会場内には専用ブースを設置し、JL-DBのPRも実施しました。



アフターコロナに向けた 外国映像作品ロケーション 誘致に関する実証調査

新規事業

内閣府 委託事業

デジタル時代に向けた大型 外国映像作品ロケーション 誘致に関する実証調査

新規事業

内閣府 委託事業

< 事業内容 >

本事業では、外国の大型映像作品のロケ誘致の実例を創出し、地域経済の振興等にどの程度の費用対効果があるか、今後、日本が継続的に外国映像作品のロケ誘致を進める上でどのような課題があるか、定量的、定性的な分析を行うための実証調査を行いました。

今年度は、内閣府知的財産戦略推進事務局からの委託事業において、新型コロナウイルスにおける入国水際対策の大幅緩和により、予算／配信・配給ともに世界規模の大作である3作のアメリカの大型映像作品を日本にロケーション誘致をすることができました。その結果、雇用創出、産業振興、人材育成、インバウンド、観光誘客といった効果を調査することができました。また、今回の調査で、国内の映像制作者からのヒアリングから様々な気づきもたらされ、今後の制度の改善の方向性を見出すことができました。

今年度の業務のひとつとして、アメリカを筆頭に海外から請け負う映像制作において、映像業界の海外対応人材の確保に関する調査がありました。映像業界の人材不足は、過重労働を生み、業界離れを促進させる悪循環をもたらします。特に撮影ロケーションを探し、制作現場・撮影環境を整備し、円滑な撮影を支える役割を担う制作部で外国語が使える人材の確保は非常に困難な状況にあり、異業種の方や学生を対象に募集をかけ人材を確保し、インターン生として座学・映像制作現場にて実践で育成を行うことで、映像業界への人流が増えるかを検証する、海外対応人材育成に関する実証調査を実施しました。

さらに、海外対応人材育成においては、その過程について今後の取り組みを中長期的に行う必要があり、その制度設計が必須ですが、その前段として実際にどのようなポジションにどのような人材が必要なのか、そのためにどのような取り組みと支援が必要か、現状を海外制作者や国内映像制作会社・団体を対象に調査を実施いたしました。

京都映画企画市

京都府 委託事業

映画企画コンテスト

開催日：2022年10月16日(日) 京都みなみ会館
京都で時代劇・歴史劇企画を映像化できる映画企画コンテストを開催。新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目的として、映像製作者を対象に京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品企画を募集。2022年度は書類選考を通過した5企画のプレゼンテーションを行い、業界の第一線で活躍する犬童一心監督、矢島 孝プロデューサー(松竹)、和田 隆プロデューサー(映画.com)の3名が応募企画を審査しました。優秀映画企画に選ばれた『うつつの光、うつる夜』(鹿野洋平監督)には、350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、東映京都撮影所にて撮影が行われました。



京都映画企画市

時代劇の拠点、京都にて開催する時代劇映画の企画コンテスト
優秀映画企画は、太秦の撮影所にてパイロット版制作

2016年度優秀映画企画『黒の牛』(葛 哲一朗監督)が企画市パイロット版から初長編化

歴代パイロット版から初めて長編化が実現し、日本・アメリカ・台湾の国際共同製作となりました。葛監督の故郷でもある徳島県と台湾にて35mmフィルムで撮影、台湾の名優リー・カンション氏を主演に迎え、日本人キャストは田中 泯氏、美術を部谷京子氏が担当しており、国際色豊かなキャスト・スタッフが集結。2024年公開予定。



2023年3月 台湾記者会見の様子:左から2番目が葛 哲一朗監督、中央がリー・カンション氏

映画企画相談会

開催日：2022年10月1日(土) オンライン
最前線で活躍するプロデューサーの久保田 傑氏、永井拓郎氏から企画作りのノウハウを学ぶことができる企画相談会をオンラインにて実施しました。

本事業では、日本国内、および海外の映像作品において、撮影スタジオの利用状況や大型スタジオの需要、スタジオ側の運用情報等の取組に有効な資料となる調査・報告をするものであり、海外映像作品のロケーション誘致において役立てることを目的としています。

調査・情報サービス

デジタル映像クリエイティブ拠点化推進調査・分析業務事業

新規事業

群馬県 委託事業

海外映像作品の日本国内での撮影において、一番の課題はロケーション撮影の許認可・対応についてですが、製作者側からは他の課題として、大型のセットが組めるスタジオが無いことも指摘されています。折しも、デジタル映像クリエイティブの拠点となることを目指す地方都市がコンベンション施設の展示ホールを大型撮影スタジオとしての長期利用の検討を目指しているため、映像産業に従事する多様なスタッフ、業者、関連団体へのヒアリングを行い、デジタル時代の映像製作の可能性を見据えた分析をしました。

京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)2022

京都市 委託事業

京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)

2012年より続くマンガ・アニメ関連の総合見本市。2022年は9月17日(土)、18日(日)に開催され、VIPOが運営に携わる京まふ関連イベント「マンガ出張編集部」は、新型コロナ感染症対策を考慮し、11月19日(土)、20日(日)の2回に分けて京都国際マンガミュージアムにて実施しました。

「京都国際マンガ・アニメ大賞2022」世界99の国/地域からエントリー

- マンガ部門:743作品、イラスト部門:1,360作品、CGアニメ部門:158作品
- 応募総数:2,261作品
- 授賞式:2022年9月16日(金) (京都市役所本庁舎4階 正庁の間)

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度は大賞、各優秀賞・準優秀賞、審査員特別賞の受賞者のうち日本在住の4名に会場までお越しいただき、海外在住の受賞者にはオンライン(Zoom)にてご参加いただく形での開催となりました。2022年度は全応募作品から選ばれる特別賞1作品、マンガ、イラスト、CGアニメの3部門それぞれに優秀賞、準優秀賞1作品、そして各コンテストの優秀賞作品から選ばれる京都国際マンガ・アニメ大賞1作品を選定。大賞、優秀賞、特別賞の受賞者は右記の方々。

京都から世界に「マンガ」、「アニメ」を発信する西日本最大級のマンガ・アニメのイベント

京都市、および京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)実行委員会から「マンガ家等クリエイター志望者支援」企画・運営等業務を受託し、その一環として「京都国際マンガ・アニメ大賞2022」の事務局運営等を実施しました。本賞は、世界のマンガ家を含むクリエイター志望者が京都を通じてプロデビューをするための機会創出を目的としています。

京都国際マンガ・アニメ大賞
Nalu氏[フィリピン在住]
マンガコンテスト優秀賞
Nalu氏[フィリピン在住]
イラストコンテスト優秀賞
Nanase氏[東京都在住]

CGアニメコンテスト優秀賞
ハヤカワツクロ氏[愛知県在住]
特別賞
ちいら氏[岐阜県在住]



大賞作品
『ティオとミア』(マンガコンテストから) 作者:Nalu氏



市場開拓

東京都コンテンツ活用促進事業

東京都 委託事業

- 開催日 2022年12月7日(水)、8日(木)
参加者 コンテンツ企業46社、異業種23社
- コンテンツ企業:映像、アニメ、ゲーム、アプリ、音楽、キャラクター、WEB、ICT、VR等
 - 異業種企業:製造、医療・福祉、教育、商店街、小売等分野

「マッチング交流会」の開催

各企業から参加申し込み時にご提出いただいたエントリーシートを基に、事前にマッチングスケジュールを組み、オンライン商談室を用意。約160件のコンテンツ企業×異業種企業のマッチングを実施しました。

「コンテンツ活用促進セミナー」の開催

コンテンツ企業と異業種企業のコラボレーションに必要なノウハウや成功事例に関するセミナーを実施しました。

- 1 開催日 2022年12月7日(水) 10:30~11:15
テーマ 「コンテンツは上手に「きっかけ」を創ってくれる。」

- 2 開催日 2022年12月7日(水) 11:30~12:15
テーマ 「コアファンを持つ作品だからこそできる、刺さるコラボの仕掛け方」

VIPOは、東京都令和4年度予算「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展と他産業との交流を促し、コンテンツ活用の裾野を拡げていくことを目的に、「コンテンツ活用促進セミナー&コンテンツ企業×異業種企業マッチング交流会」をオンラインにて開催しました。



アーカイブ 中核拠点形成モデル事業 (撮影所等における映画関連の非フィルム資料)

文化庁 委託事業

歴史的、文化的価値のある日本の貴重な文化関係資料(撮影所等における映画関連の非フィルム資料*)が散逸・消失することのないようアーカイブの構築に向けた資料の保存および活用を図るため、当該分野のネットワーク化を推進し、分野全体のアーカイブ運営や共同利用の促進等を目的としています。

*非フィルム資料:脚本、ポスター、スチル等のフィルム以外の映画関係資料

ネットワーク化の推進

▶ 2021年度に続き、映画資料所蔵館、IPホルダー、研究者などさまざまな映画資料関係者が参加する「全国映画資料アーカイブサミット2023」を開催(オンライン)。2022年度は、従来のテーマや議論をより深化させるため、映画宣伝デザイナーによるトークやデジタルアーカイブ化事業者によるセミナーを実施しました。またシンポジウムでは、北海道、関東、東海、九州の各地区の映画資料館の方が登壇し、全国規模かつより幅広い展開となりました。

現地調査研究

▶ 調査範囲を新たに北海道へ拡大し、北の映像ミュージアムと札幌市映像機材博物館の映画資料の所在調査を実施しました。また世田谷地区のTOHOスタジオ、東宝映像美術、世田谷文学館のほか、2021年度に続く調布地区の東京現像所にて映画資料の所在調査を行いました。

所在地情報検索システムの拡張

▶ 2020年度にベータ版を限定公開した「映画資料所在地情報検索システム(JFROL)」において、従来の東映太秦映画村(京都)、松竹大谷図書館(東京)、川喜多記念映画文化財団(東京)に加え、新たに北九州市立松永文庫(福岡)と早稲田大学演劇博物館(東京)のデータベースを連携させ、連携資料館の横断検索システムを拡大するとともに、年度末までを期限とした一般公開の実証実験を行いました。

< イベント開催 >

1. 「全国映画資料アーカイブサミット2023」

時世の問題を織り交ぜながら、映画資料の保存・活用のための基礎知識をテーマに、映画資料の理解を深めることを目的に開催。

【日 時】2023年1月30日(月)10:30~17:15 【場 所】ライブ配信(主会場VIPO会議室R) 【参加者】247名 【参加費】無料

【プログラム(タイトルと登壇者)】

- 報告「映画資料所在地情報検索システム(JFROL)の新たな展開」
1. JFROLの新たな連携・改修そして次のステップへ/事務局 佐藤友則(VIPO)
2. 資料整理のためのデータベース管理とJFROLへの連携/北九州市立松永文庫 学芸員 風 恵美氏
- トーク「映画宣伝デザイナーの視点 映画への道しるべ」
サイファ.岡野 登氏(グラフィックデザイナー)/聞き手:国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏
- セミナー「ゲーム・舞台・音楽など隣接分野のアーカイブの動向と映画資料の著作権処理と最新潮流」
骨董通り法律事務所 代表弁護士(日本、ニューヨーク州) 福井健策氏
- 発表「映画館の視点 映画館が独自に制作する広報物と観客とのコミュニケーション」
1. シアターキノ発行「MOVIE LINEUP」について/シアターキノ(北海道・札幌市)代表 中島 洋氏
2. 上田映劇発行「上田映劇ジャーナル」について/上田映劇(長野県・上田市)編成 原 悟氏
- セミナー「映画資料のデジタル化に関する基礎知識 非フィルム資料(台本等)の電子化」
ナカバヤシ株式会社 ビジネスプロセスソリューションカンパニー 図書館ソリューション営業部 林 茂和氏
- シンポジウム「映画資料を文化的リソースに—関係者の連携強化と今後の展開」
モデレーター:国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏/パネリスト:世田谷文学館 主任学芸員 庭山貴裕氏/北九州市立松永文庫 学芸員 風 恵美氏/木下恵子記念館(浜松市旧浜松銀行協会)担当キュレーター 戴 周杰(たいしゅうき)氏/NPO法人北の映像ミュージアム 理事長 佐々木 純氏/京都大学大学院 人間・環境学研究所 教授 木下千花氏

2. 「映画はいかにして作られ、そして楽しまれてきたか〜最新調査で発見された映画資料展〜」(展示)

【日 時】2023年2月11日(土・祝)~2月19日(日) 【場 所】調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー 【参加費】無料

【内 容】

2022年度の実地調査結果を基に、調布・世田谷地区の東京現像所、TOHOスタジオ、東宝映像美術の調査結果より助監督によるシナリオ同人誌やスタッフ表、美術図面等、また北海道地区の北の映像ミュージアムの映画会社各社の会報・ファン雑誌(支社独自発行含む)、地元ミニコミ誌等の映画資料を展示。今回の展示は、前者の制作者側(映画撮影する側)の資料と後者の観客側、および映画ロケ地として映画撮影される側の資料を、ロケーション撮影に関する資料を媒介に連続させ、展示会名にある一連のテーマで構成しました。

VIPOインタビュー

2022年8月

会社はひとつの家族と同じ、みんなで笑顔をつくっていく—— 地方に世界に笑いを届ける吉本興業大崎会長の経営術

大崎 洋氏(吉本興行ホールディングス取締役会長[2022年当時])のVIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」の経営者講演を再構成して記事化。仕事をやる上で大事にしていること、組織のあり方、人代表材育成についてなど、幅広くお話をいただきました。



2016年からスタートしたVIPOインタビューシリーズ。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント、プロジェクト等をテーマにさまざまな方にインタビューを実施。毎年、実施している内閣府の知的財産戦略推進事務局にお話を伺う「知的財産推進計画」についてや、VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」の経営者講演ほかVIPO独自のセミナー内容を記事化して紹介しています。(掲載先 <https://www.vipo.or.jp/interview/list/>)

2022年8月

注目のロックオペラ『犬王』のプロデューサー竹内文恵氏に聞く! みんなが簡単に思い浮かばないイメージだからこそ、すごいものができる!

テレビシリーズから長編までさまざまなアニメーション作品を手掛けている竹内文恵氏(アスミック・エース株式会社 ライツ事業本部アニメ企画部長)にミュージカル・アニメーション『犬王』の製作秘話を中心に、プロデューサーの役割、アニメーション業界の課題などお話を伺いました。



2022年9月

KOCCA 日本ビジネスセンター長 李 咏勲(イ ヨンフン)氏に聞く—ウイズコロナ時代における韓国コンテンツ業界事情とは——「コンテンツで国民の文化的体験を豊かにすることは昔も今もかわらないモットー」

2021年より就任され、2022年3月に日本に赴任されたKOCCA(韓国コンテンツ振興院)ビジネスセンター長の李 咏勲(イ ヨンフン)氏にインタビューを実施。ウイズコロナ時代における、韓国コンテンツ業界の事情や日本での支援戦略についてお話を伺いました。



2022年10月

2022年秋公開「夜を越える旅」の監督とプロデューサーが「プチョン国際ファンタスティック映画祭」企画マーケットに参加し、凱旋上映、劇場公開を果たすまで

VIPOからの推薦枠として、「プチョン国際ファンタスティック映画祭(BIFAN)」の企画マーケット「NAFF It Project」のオンラインピッチングに参加した監督の萱野孝幸氏とプロデューサーの相川満寿美氏に、初めて参加したピッチングのことやプチョンでの凱旋上映から劇場公開までについてお話を伺いました。



2023年2月

想像力がなければ、新たな創造はできない——次世代へのバトンを繋ぐポニーキャニオン吉村社長の経営思考

吉村 隆氏(株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長)のVIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」の経営者講演を再構成して記事化。「脱パッケージ」をはじめとした様々な改革を進めてきた吉村社長に、ご自身の転職や信条、「共創」思考や社内横断プロジェクト、ストレス発散方法に至るまで幅広くお話を伺いました。



2023年3月

内閣府に聞く——クリエイターやアーティスト、個人プレイヤーが社会の知財・無形資産をフル活用できる経済社会へ

アフターコロナにおける動きが活発になってきたコンテンツ業界において、2022年度「知的財産推進計画」のテーマである「クールジャパンの再起動」について、内閣府の知的財産戦略推進事務局局長 田中茂明氏にお話を伺いました。

